令和6年3月22日

事業番号	4852	担当課等	学校教育課				
事務事業名	教育支援教室	作進事業					
予算科目コード	予算科目コード 会計 1 款 9 項 1 目 2 事業開始年度 平成4年度						

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目	標	政	策	分	野	主	要施策	細	施策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通 かな心を り	4 じて学 育むま	び豊 ちづく	I 生涯にわた びの推進	こる学	学校教	3 育	小•中	(1) 学校教育の	⑦不登校 解決	などの問題
関連する個別計画											
	1貧困	21	讥餓	3保健	4教育	5ジ	ロンダー	6水•衛生	7エネルキー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsとの関連					0						
SDUSCU用建	10不平等	等 11	都市	12生産と消費	13気候変	動 14海	洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	る。不登	校刘	策とし		年度に	学校校	外指	導室「適	登生徒は年 応指導教		
対 象	心因的	 内理由	での	不登校児	童生徒						
内容	不登权	と と 児童	生徒の 生徒の	登校児童)保護者に)学校復帰 携	対する場	 力言					

		区 分	令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)	
		事業費	577,016		555,909	691,000		
コス	人	常勤職員						
<u>`</u>	件	会計年度任用職員等	577,944		577,488			
	費	人件費合計	577,944		577,488		0	
		総事業費	1,154,960		1,133,397		691,000	
		国庫支出金						
財		県支出金						
源		地方債						
内		その他特定財源						
訳		一般財源	1,154,960	1,133,397			691,000	
		財源合計	1,154,960		1,133,397	691,000		
	_	活動指標	指標設定の理由・考えた	単位	令和3年度	令和4年度	目標値	
進	級リ	見童生徒数			11	8	0	
					0	0	0	
	成果指標		指標設定の理由・考えた	単位	令和3年度	令和4年度	目標値	
現	籍包	交へ復帰した児童生徒数			5	4	0	
					0	0	0	

The state of the s											
評価 5段階	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)										
必要性	町が実施する必要があるのか	5	湯河原町立小中学校に通う児童生徒対象のため。								
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	基本的生活習慣を身につけさせ、集団生活に適用 できるよう段階的に指導し、学校へ復帰させる。								
有 効 性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	不登校だった児童生徒が教育支援教室に通級するようになり、教育支援教室の小さな集団生活をすることにより、原籍学校へ復帰できるようになる。								
公 平 性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	5	教室の案内パンフレットを作成し、小中学校や町内 施設に配架し、周知をしている。								

令和4年度までの 改

不登校の児童生徒にとって、居場所となり得る教育支援教室の存在は必須のもの 自己評価またはと考え、植物菜園などの園芸活動その他様々な活動の中で、集団生活への適応を 指導している。

4 見直し及び改善

評価 4区分とその	里由を記 <i>〕</i>	(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)
委託・指定管理 導入の可能性	3	保護者、学校、関係諸機関との連携が必要な為、委託等は不可能と思われる。
令和5年度の見直し 及び改善予定		て、小学校4年生以上の児童と中学校の生徒が対象でしたが、小学校低 やひきこもりの児童生徒についても学校と連携して随時家庭訪問を行って
令和6年度以降の 方向性		不登校児童生徒を原籍校へ復帰させるため、関係機関との連携を図りつていきます。

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

不登校児童生徒を原籍校へ復帰させるために 指導し、保護者へ助言を行う。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

・次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	4862	担当課等	学校教育課					
事務事業名	小中学校児童	生徒作品展開催事業	展開催事業					
予算科目コード 会計 1 款 9 項 1 目 2 事業開始年度								

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施策	細	施策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じ かな心を育 り	- て学び豊	I 生涯にわた びの推進	-る学 学	3 校教育	小•中	(1) 中学校教育の	①特色ある 進	る教育の推
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育 〇	5シェンダー	6水•衛生	生 7エネルキー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGSCの財産	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資	源 16平和	17実行手段	該当なし
目的	習の成果	の発表と	鑑賞の機	会を提供		会に児	館に展示 童生徒の多		
対 象	町立小	町立小・中学校の児童・生徒							
内容							旬~12月上 会を提供す		区書館

		区 分	令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)	
		事業費	90,000		90,000	70,000		
コス	人	常勤職員						
	件	会計年度任用職員等						
	費	人件費合計	0		0		0	
		総事業費	90,000		90,000		70,000	
		国庫支出金						
財		県支出金						
源		地方債						
内		その他特定財源						
訳		一般財源	90,000		90,000	70,000		
		財源合計	90,000		90,000	70,000		
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値	
					0	0	0	
					0	0	0	
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値	
					0	0	0	
					0	0	0	

評値	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)										
必	要	性	町が実施する必要があるのか	5	小中学生の学習成果の発表と鑑賞の機会を提供 し、成果を住民に知ってもらい、開かれた学校運営 を目指す。						
効類	·		投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	児童・生徒の作品を広く発表する機会があることで 児童・生徒の学習意欲の向上を図ることができてい る。						
有	効	性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	作品展として町民等多くの皆さんに児童・生徒の学 習成果を知ってもらえる。						
公	平	性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	5	児童・生徒全員の作品の中から優秀作品を選定し ている。						

令和4年度までの 令和4年及る 自己評価または いる。 改

児童・生徒の作品を展示し学習成果を発表することで、生徒の意欲向上を図りって

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理	里由を記り	(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)				
委託・指定管理 導入の可能性	9	湯河原町教育研究会に委託				
令和5年度の見直し 及び改善予定		では、児童・生徒の作品を町立図書館に展示していたが、令和5年度から各回展示に変更する。				
令和6年度以降の 方向性	今後も、 図りたい。	児童・生徒の作品を展示し学習成果を発表することで、生徒の意欲向上を				

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

児童・生徒の作品を広く発表する機会があるこ とで児童・生徒の学習意欲の向上が期待できる。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

·次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	4866	担当課等	学校教育課				
事務事業名	教職員等研修	事業					
予算科目コード	会計 1	款 9 項	1 目 2 事業開始年度				

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施策	細力	施 策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通じ	4 て学び豊 むまちづく	I 生涯にわた びの推進	こる学 学	3 校教育	小•¤ 充実	(1) 中学校教育の !	⑨教育研究 研修の充実	
関連する個別計画									
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水•衛	生 7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsとの関連	407.7	4 4 407	11	0	1	. = D+ 1 */27	VE 40 TE 40		=+ 1/ 4>1
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変重	14海洋資源	15陸上資	源 16平和	17実行手段	該当なし
目的	教職員	<u> </u> の資質の	向上を図	るため研	」 修事業を第	L 実施する	స్.		
対 象	全教職	全教職員							
内容		町幼保小 研修会を[修会及で	ぶ湯河原町	 「人権都	女育研修会。	として、人	権教育を

	区 分		令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年度(見込)	
	事業費				33,476		72,000
コス	人	常勤職員			342,800		
<u>`</u>	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		342,800		0
		総事業費			376,276		72,000
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	0		376,276		72,000
		財源合計	0		376,276		72,000
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
研	修会	会実施回数			0	1	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

	to the a town and a statement of the sta								
評価	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)								
必要	要 性	町が実施する必要があるのか	5	公立幼・小・中学校教職員の資質向上のために必 要である。					
効率		投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	子どもたちを取り巻く社会は日々多様化・複雑化しており教職員に対し広い見識が求められる中で毎年研修会を実施し、教職員の資質向上を図った。					
有交	効 性	事業の目的に対して成果が得 られているか	4	効果の測定は難しいが教職員の学習機会を確保す ることで見識の底上げが期待できる。					
公平	平 性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	5	保育園と連携して保育士まで参加範囲を拡大し実 施している。					

令和4年度までの

申己評価または 会を実施することができた、 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じながら、研修

4 見直し及び改善

	⊞ab≠≘┐┐	1 (1 五米 0 じょうしょいきかい 0 不三米 0 既に実体され)		
評価 4区分とその理	生田を記し	(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理 導入の可能性	3 町教育委員会が主導で実施する教職員に対する講演会			
令和5年度の見直し 及び改善予定		F度以降は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受け、コロナ 様に実施していきたい。		
令和6年度以降の 方向性	継続して	て実施する。		

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

教職員の資質向上のために継続実施する必要 がある。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

・次評価と同様

事業番号	担当課等学校教育課	
事務事業名	人権問題研究会等参加事業	
予算科目コード	会計 1 款 9 項 1 目 2 事業開始年度	

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施策	細が	拖 策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通じ	1 て学び豊 むまちづく	I 生涯にわた びの推進	こる学 学	3 校教育	小·中 充実	(1) 『学校教育の		5 の推進
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育 〇	5シェンター	6水•衛生	上 7エネルキ ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGSCV发建	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資	原 16平和	17実行手段	該当なし
目的	人権に対	する知識	を深める。	o.					
対 象	教育委員	教育委員会事務局職員							
内容	同和三団	体の研究	記会への参	⋧加や雑	誌等の購力	(

	区分		令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年月	度(見込)
	事業費		128,000		89,000	127,000	
コス	人	常勤職員	57,556		56,660		59,526
	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	57,556		56,660		59,526
		総事業費	185,556		145,660		186,526
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	185,556	145,660			186,526
		財源合計	185,556		145,660		186,526
		活動指標	指標設定の理由・考えた	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
	成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

けれて十尺のでのすべかが次の以上が									
評価 5段隊	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)								
必要性	町が実施する必要があるのか	4	人権団体主催の研究会等に参加することで人権に 関する知見を深めることができる。						
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	4	人権団体主催の研究会等に参加することで人権団 体に対し町教育委員会の姿勢を示すことができる。						
有 効 性	事業の目的に対して成果が得 られているか	4	人権団体主催の研究会等に参加することで人権団 体に対し町教育委員会の姿勢を示すことができる。						
公平性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	4	研究会等の参加内容を学校現場にフィードバック できない部分がある。						

令和4年度までの 自己評価または 改

人権問題の認識を高めることができる。

4 見直し及び改善

評価 4区分とその3	理由を記し	N(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)
表託・指定管理 導入の可能性	3	啓発に関することあるため教育委員会で実施したい。
令和5年度の見直し 及び改善予定	これまで	ごと同様に取り組みたい。
令和6年度以降の 方向性	今後も	継続して実施する。

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

人権団体主催の研究会等に参加することで人 権に関する知見を深めることができる。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

-次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	4889	担当課等	学校教育課		
事務事業名	小学校音楽会	開催事業			
予算科目コード	会計 1	款 9 項	1 🗏 2	事 業 開 始 年 度	

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施 策	細が	施 策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通じ	4 て学び豊 むまちづく	I 生涯にわた びの推進	こる学学	3 校教育	小·中 ² 充実	(1) 学校教育の	②小学校都	教育の充実
関連する個別計画									
CDC-トの間油	1貧困	2飢餓	3保健	4教育 〇	5ジェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsとの関連	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	優れた	演奏家な	どの音楽	を聴くこと	により、児	童たちの	情操を深る	める。	
対 象	町内小	町内小学校児童							
内容					に集い、 家の音楽を		楽活動の	成果を発	表しあ

	区 分		令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年度(見込)	
	事業費		0		220,000		220,000
コス	人	常勤職員					
 -	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	0		220,000		220,000
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	0	220,000			220,000
		財源合計	0	220,000			220,000
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
実	施回	回数			0	1	0
					0	0	0
	成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

評価 5段階	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)								
必要性	町が実施する必要があるのか	5	優れた音楽家の演奏を直接聴くことにより豊かな心 を育むことができる。						
	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	3小学校合同で開催することで、全小学校の児童 を対象に情操を深めることができている。						
有 効 性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	質の高い生の演奏を直接聴くことで情操を深める ことができる。						
公 平 性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	3	実施内容から小学校4・5年生を対象としている。						

令和4年度までの 改

令和4年度については、湯河原小学校体育館を会場として、3年ぶりに実施するこ 自己評価またはとができ、他校の演奏や特別演奏の鑑賞を通して、音楽に対する感性を育てるととも に町内3小学校の交流を深めることができました。

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理	里由を記え	人(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)				
委託・指定管理 導入の可能性	9					
令和5年度の見直し 及び改善予定	令和5 ⁴ ていきた	F度は、感染症対策を講じながらコロナ禍前と同様に実施できるよう検討しい。				
令和6年度以降の 方向性	継続し	て実施する。				

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

質の高い生の演奏を聴くことができ情操を深め ることができる。また、3小学校の交流も期待でき る。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

·次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号		担:	当課等			学校教育課	
事務事業名	小中学校児	童生徒	支援事業	É			
予算科目コード	会計	1 款	9 項	1	目 2	事業開始年度	

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施 策	細力	施 策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通じ	4 て学び豊 むまちづく	I 生涯にわた びの推進	こる学 学	3 校教育	小·中 充実	(1) 学校教育の	②小学校 実、③中学 充実	
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育 〇	5シ゛ェンタ゛ー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGSCの角建	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	特別な	支援•配属	意を必要と	:する児童	€・生徒にき	きめ細やス	いな対応を	<i>:</i> する。	
対 象	各校児	各校児童•生徒							
内容	ザー・スク	ケールソー	シャルワ	ーカーの	」助言やア 派遣を実が ・ート」(心ま	をしている	る。また、発	達検査の)実施や

		区 分	令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
	事業費コープリーの開発を表現します。		1,847,355		2,018,535		2,932,000
コス							
 -	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	1,847,355		2,018,535		2,932,000
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	1,847,355	2,018,535			2,932,000
		財源合計	1,847,355		2,018,535		2,932,000
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
	成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

The state of the s									
評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)									
必要性	町が実施する必要があるのか	5	児童・生徒へのきめ細やかな対応が必要である。						
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	未就学の時期から就学支援を実施するなどネット ワークを構築している。						
有 効 性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	配慮が必要な児童・生徒にきめ細やかな対応ができている。 アンケートを定期的に実施することで、いじめの早期発見や解 消に組織的に対応できている。						
公平性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	5	各学校で実施している。						

令和4年度までの 自己評価または 改善点

継続して支援することで、児童・生徒にきめ細やかな対応ができている。

4 見直し及び改善

7.EUXUVA							
<u>評価 4区分とその</u> 3	里由を記力	N(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)					
委託・指定管理 導入の可能性	3	行政が実施する必要がある。					
令和5年度の見直し 及び改善予定	支援教 いきたい。	育アドバイザー・スクールソーシャルワーカーについて、更に有効活用して 。					
令和6年度以降の 方向性	教育現	場の声を聴きながら継続実施していく。					

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

児童・生徒への支援を継続していく。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

一次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	4915	担当課等		学校教育課	
事務事業名	校外体験学習	作進事業			
予算科目コード	会計 1	款 9 項	1 🗏 2	事業開始年度	

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	. 目標	政	策	分 野	主	要 施 策	細力	<u></u>
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通 かな心を り	4 じて学び豊 育むまちづく	I 生涯にわた びの推進	≿る学 学	3 校教育	小·中 [:] 充実	(1) 学校教育の	①特色ある 進	が教育の推
関連する個別計画									
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5シェンダー	6水•衛生	フェネルキー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsとの関連				0					
SDGSCの財理	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	加 14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的					経際に体験 上愛が育ま		、湯河原	町民の一	員とし
対 象	町内小	町内小学校児童							
内容	お茶摘 対する理	解を深める	.童が茶摘み る。)・温泉ノ	人浴体験	、そのお茶 数室(こごめ へのいつくし	の湯で温	泉の入り方		

		区 分	令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
	事業費		397,886		616,979		866,000
コス	人	常勤職員	1,159,120		1,133,200		1,190,520
 -	件	会計年度任用職員等	66,478		66,478		66,478
	費	人件費合計	1,225,598		1,199,678		1,256,998
		総事業費	1,623,484		1,816,657		2,122,998
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	1,623,484	1,816,657			2,122,998
		財源合計	1,623,484		1,816,657		2,122,998
		活動指標	指標設定の理由・考えた	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
	成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

to the company and a place in teach the									
評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)									
必要性	町が実施する必要があるのか	5	地場産業や自然を体験することで郷土を学ぶことが できる。						
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	町内の関係団体から協力をいただき実施してい る。						
有 効 性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	地域の産業など身をもって体験することで地域を 考える機会を作りだし、教育の充実につながっていく と考える。						
公平性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	5	学習状況に合わせた特定の学年で毎年実施して おり、多くの児童が参加している。						

令和4年度までの 自己評価または 改

令和4年度については、3年ぶりに全ての体験学習を実施することができ、町内小 学校の児童は、湯河原町の自然を体験することで郷土を学ぶことができました。

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理	理由を記え	人(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)				
委託・指定管理 導入の可能性	9 農事組合法人南郷協同組合に委託					
	1					
令和5年度の見直し 及び改善予定	令和4 ⁴ を 体験 す	F度に引き続き、体験学習を実施することで、湯河原町独自の文化や自然 ることで郷土愛を育んでいきたい。				
令和6年度以降の 方向性	継続し	て実施する。				

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

郷土の特色ある地場産業、自然を実地に体験 することで、自分の住む町をより理解し、郷土愛を 育む教育を推進する。

6 5	すめ・計画推進の)祝点からの所見	(※各課等は記人へ	要です。空欄のま	ま提出してくたさい。
-----	----------	----------	-----------	----------	------------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

・次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	4943	担当課等	学校教育課				
事務事業名	事務事業名 子どもフォーラム開催事業						
予算科目コード 会計 1 款 9 項 1 目 2 事業開始年度 平成23年度							

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施策	細	施策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通し かな心をす り	4 ごて学び豊 穿むまちづく	I 生涯にわた びの推進	土る学学	3 华校教育	小•中	(1) 学校教育の	①特色ある 進	る教育の推
関連する個別計画									
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	- 6水・衛生	Ξ 7エネルキー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsとの関連				0					
SDGSCの財理	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	加 14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	言)の実	現と、児童		主体的に	活動でき		河原町子定すること		
対 象	町内名	町内各小中学校の児童・生徒							
内容							4回設定す 児童・生徒		

		区 分	令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
		事業費	56,233		74,211		283,000
コス	人	常勤職員	701,300		1,028,400		892,890
	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	701,300		1,028,400		892,890
		総事業費	757,533		1,102,611		1,175,890
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	757,533		1,102,611		1,175,890
		財源合計	757,533		1,102,611	1,175,890	
		活動指標	指標設定の理由・考えた	当 単位	令和3年度	令和4年度	目標値
開	開催数				1	2	0
					0	0	0
	成果指標		指標設定の理由・考え力	ラ 単位	令和3年度	令和4年度	目標値
参	参加者(児童・生徒、一般)				13	44	0
					0	0	0

To the Colombia Annie Annie										
評 価 5	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)									
必要	性	町が実施する必要があるのか	5	児童・生徒が自分たちの学校や町を大切に思い、 よりよくしていこうとする意識や行動に繋げるために、 町が実施する必要がある。						
効 率 特 似 特		投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	本町出身の方にコーディネートしていただくことで、 町を愛するという共通項を持って、事業を行うことが できる。						
有効	性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	昨年度も参加した児童・生徒が、今年度も参加するという循環が生まれているが、個々の生活スタイルの変化により、参加ができない場合もある。						
公平		事業の目的に対して受益の機 会が均等か	5	児童・生徒たちの手で、「笑顔あふれる最高の楽校 (がっこう)」を実現することで、町立学校に通う全て の児童・生徒に還元することができる。						

令和4年度までの

令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施しながら、2日間の日 自己評価または程で実施することができました。

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)									
委託・指定管理 導入の可能性	3	開催にあたり、教育委員会において、学校等各関係機関との連携が必要 であるため。							
	_								
令和5年度の見直し 及び改善予定		やすい状況を設定するため、児童・生徒が主体的に参加、活動できるよう、 を工夫するとともに、子どもフォーラムの目的から逸脱しない範囲での行事 ている。							
令和6年度以降の 方向性	地域の	方にも、積極的に参加していただけるような事業に発展させる。							

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

主体的、協働的に行動し、考えることができる児 童・生徒を育成するために有効な事業と考えてい る。

6 財政・計画推進の視占からの所具(※各理等け記入不要です 空欄のまま提出してください)

O	別以「前回推進の税点からの別先(公台誌寺は記入小安です。 主懐のよる徒山して	115000)
Π		

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

·次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	4956	担当課等	学校教育課			
事務事業名	事務事業名 学びづくり推進事業					
予算科目コード	会計 1	款 9 項	1 目 2 事業開始年度			

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施策	細	施策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通じ	1 て学び豊 むまちづく	I 生涯にわた びの推進	こる学 学	3 校教育	小·中 充実	(1) 『学校教育の	①特色ある 進、②教育 職員研修	育研究•教
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育 〇	5ジェンダー	6水•衛生	主 7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsCV房庄	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	原 16平和	17実行手段	該当なし
目的	力等をはくまた、特色	ぐぐみ、主作 ある湯河	本的に学習 東の学校着	習に取り組 女育の推済	沓まえ、課題 lむ姿勢を養 進、教育によ 欲向上を図	うことで、 ける「現	児童・生徒	の学力向	上を図る。
対象	町内小中学校の児童・生徒、全教職員								
内容					は終了した 授業力向_				. 各学校

		区 分	令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年月	度(見込)
	事業費		210,000		312,440		405,000
コス	人	常勤職員					
<u>`</u>	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	210,000		312,440		405,000
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	210,000	312,440		405,0	
		財源合計	210,000		312,440		405,000
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
講	演名	会回数			6	12	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

	The state of the s									
評価	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)									
必	要性	町が実施する必要があるのか	5	町の児童・生徒の実態、町立学校の状況、それら を取り巻く町の状況を反映した取組みを実現するた めには、町の事業として実施する必要がある。						
効 類 化	率性似性	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	校内研究会に、外部講師を複数回招聘すること で、理論と実践がつながり、質の高い研究会を実施 でき、授業力向上、授業改善が図れる。						
有3	効 性	事業の目的に対して成果が得 られているか	4	継続して同じ講師を招聘することができ、町立学校 教職員の授業力向上、実践的指導力の向上に多大 な効果を得られている。						
公	平 性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	5	町立学校に通う全ての児童・生徒に対して、質の 高い授業を提供することが、公教育の目指すべき方 向である。						

令和4年度までの 自己評価または 改

町立各小中学校及び幼稚園に外部講師を招き、公教育における幼小中の「学び」 の連続性を意識した取組みを行った。

4 見直し及び改善

評価 4区分とその3	評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)									
委託・指定管理 導入の可能性	9	湯河原町教育研究会に対して、教育課題研究を委託している。								
	1									
令和5年度の見直し 及び改善予定	の公教育	校同士で授業を見学し合うだけでなく、町外のよりよい実践を吸収し、本町 に還元するため、教職員が先進校のみならず、近隣市町村の校内研究会 極的に参加できるように働きかける。								
令和6年度以降の 方向性		育園と、「学び」の部分を共有し、義務教育を終えるまでに、町としてどのよ を育てたいかを明確にした上で、幼保小中の情報連携・行動連携を図って								

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

教職員の授業力向上及び授業改善を図るた め、継続的な実施が必要である。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

・次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	4986	担当課等	学校教育課					
事務事業名	人権教育等促进	<u></u> 進事業						
予算科目コード	会計 1	1 款 9 項 1 目 2 事業開始年度 平成26年度						

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目	標	政	策	分	野	主要	更施 策	細	施策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通 かな心をī り	4 ごて学 す むま	び豊 ちづく	I 生涯にわた びの推進	こる学	学校教育	3 Î	小·中 ⁴ 充実	(1) 学校教育の	⑤人権教	育の促進
関連する個別計画											
CDC- Lの即法	1貧困	2負	讥餓	3保健	4教育 〇	5ジェ	ンダー 6	ì水∙衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsとの関連	10不平等	0不平等 11都市 12生産と消費 13気候変動 14海洋資源 15陸上資源 16平和 17実行手段 該当なし									
目的		いじめは、どの学校でも、どの子にも起こり得る問題であるという前提のもとに、いじ を生まない土壌づくりを図るものです。									
対 象	町内小中学校の児童生徒及び教職員										
内容	5・6年生また、	三及て 小学	ド中学 5・6年	に関する記 生を対象 生及び中 ニング)を	とし、「」	人権川 おいて	柳」を引	募集した	-o		さけ、小学ミュニ

		区 分	令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
		事業費	1,639,330		1,652,450		1,673,000
コス	人	常勤職員	289,780		283,300		297,630
	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	289,780		283,300		297,630
		総事業費	1,929,110		1,935,750		1,970,630
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	1,929,110		1,935,750		1,970,630
		財源合計	1,929,110		1,935,750		1,970,630
		活動指標	指標設定の理由・考えた	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
人	権丿	柳応募者数			567	577	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

1= 111	In 19 of 19 of 2 of 1 Mark Hard Mark III										
評 価 5	段階	とその理由を記入(5:高い 4:	やや	高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)							
必要!	生	町が実施する必要があるのか	5	平成26年4月に起きた悲しい事件を風化させないようにするため、町が積極的に事業を取組む必要がある。							
効 率 性 類 似 性		投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	最優秀作品となった人権川柳については、各学校 や町役場にて立看板として掲示しており、町民の皆 さまに対しても啓発している。							
有効性	生	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	社会への対応が困難とならないよう、「社会で他社と の良好な関係を形成し、それを維持していくための 知識や技術」を体系的に習得することができた。							
公平性	生	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	4	アート・コミュニケーション・トレーニングの対象を小学5・6年生に拡大したが、今後は、3・4年生への拡大も検討する。							

令和4年度までの

自己評価またはは有効であると考えます。 小中学校という多感な時期に、コミュニケーション能力や対応能力の育成を行うこと

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理	里由を記え	N(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)						
委託・指定管理 導入の可能性	9	アート・コミュニケーション・トレーニングをNPO法人に委託						
令和5年度の見直し 及び改善予定		る継続して、アート・コミュニケーション・トレーニングを実施し、コミュニケー りや対応能力の育成を図る。						
令和6年度以降の 方向性	今後も「	司様に取り組んでいく。						

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

రం

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価 継続(現状維持) ・次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	業 番 号 9729 担 当 課 等 学校教育課							
事 務 事 業 名 ICT教育推進事業								
予算科目コード	会計 1	款 9 項	1 目 2 事業開始年度					

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	Ė	E 要	更施 策	細	施策	
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	を 生涯を通じ かな心を育 り	- て学び豊	I 生涯にわた びの推進	-3学 学	3 校教育	小充	中学	(1) 対数育の	⑩教育施 備の推進	設•設備•整	
関連する個別計画											
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育 〇	5ジェンダー	6水•徘	新生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇	᠍ 9インフラ等	
SDGsとの関連	10不平等	0不平等 11都市 12生産と消費 13気候変動 14海洋資源 15陸上資源 16平和 17実行手段 該当なし									
目的		国のGIGAスクール構想に基づき、子どもたち一人ひとりに個別最適化され、創造を育む教育ICT環境の実現にむけ、推進するもの。									
対 象	町内各	小中学校	の児童・生	生徒及び	教職員						
内容			いて校内 備していま		を整備し、	. 児童	•生 ²	徒及び教	職員に-	−人1台の	

		区 分	令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
		事業費	59,616,260		61,708,750		56,175,000
	人	常勤職員	2,103,900		2,056,800		2,142,936
\hat{\chi}	件	会計年度任用職員等	541,260		541,260		541,260
	費	人件費合計	2,645,160		2,598,060		2,684,196
		総事業費	62,261,420		64,306,810		58,859,196
		国庫支出金	1,482,000		4,829,550		
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	60,779,420		59,477,260		58,859,196
		財源合計	62,261,420		64,306,810		58,859,196
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

評価	<u> </u>	5段階	まとその理由を記入(5:高い 4:	ややる	§い 3:普通 2:やや低い 1:低い)
必	要	性	町が実施する必要があるのか	5	生徒・児童及び教職員の教育用のものであり、町 が整備する必要がある。
効類	·		投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	GIGAスクール構想の実現となる。
有	効	性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	教育用パソコン端末の整備や環境整備によりICT 教育の推進をすることができる。
公	平	性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	4	限られた予算の中で最善な運用方法を見い出すこ とが必要である。

令和4年度までの 自己評価または 改

国庫補助制度を利用して、環境整備を迅速に行うことができた。

4 見直し及び改善

評価 4区分とその3	<u> 里田を記力</u>	√(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)
委託・指定管理 導入の可能性	3	運用等の検討も必要となることから、行政として行う必要がある。
令和5年度の見直し 及び改善予定		員会や学校のみだけでは適切な運用方法を研究することが難しいため、 員を委託し、助言等をいただいてる。
令和6年度以降の 方向性		面については、今後のランニングコストを再度精査する必要があると考えま 面については、町内小中学校の教職員自らが協力し、研究する必要があ

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

限られた予算の中で最善な運用方法を見い出 す必要がある。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

・次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号		担当課等 学校教育課						
事務事業名	事務事業名 学校給食費補助事業							
予算科目コード	会計 1	款 9 項	1 目 2	事業開始年度				

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目 標	政	策	分 野	主要	更施 策	細が	拖 策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通じ	4 に学び豊 がむまちづく	I 生涯にわた びの推進	よる学 学	3 校教育	小•中等	(1) 学校教育の	②小学校 都 実、	教育の充
関連する個別計画									
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsとの関連				0					
SDUSCU房建	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変重	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	小学校	小学校給食を安定的に提供する。							
対 象	各小学	各小学校の児童とその保護者							
内容	給食費	の一部を	補助						

		区 分	令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)	
		事業費	12,881,110		16,957,216		0	
コっ	コ 人 常勤職員							
 -	★ 件 会計年度任用職員等							
	費	人件費合計	0		0		0	
		総事業費	12,881,110		16,957,216		0	
		国庫支出金						
財		県支出金						
源								
内		その他特定財源						
訳		一般財源	12,881,110		16,957,216	0		
		財源合計	12,881,110		16,957,216	0		
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値	
					0	0	0	
					0	0	0	
	成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値	
					0	0	0	
					0	0	0	

評 価 5	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4 <u>:やや高</u> い 3:普通 2:やや低い 1:低い)								
必要	性	町が実施する必要があるのか	5	子育て支援の一環として助成する必要がある。					
		投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	給食費を据え置きながら、提供することができてい る。					
有効(性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	給食費を据え置きながら、提供することができてい る。					
公平		事業の目的に対して受益の機 会が均等か	5	各小学校の児童とその保護者が対象である。					

令和4年度までの 自己評価または 改善点

給食費の急激な上昇を抑制するためできている。

4 見直し及び改善

評価 4区分とその3	<u> 理田を記力</u>	人(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)						
委託・指定管理 導入の可能性	3	行政が実施する必要がある。						
令和5年度の見直し 及び改善予定	令和5 ^年 を予算計	F度から公会計化したことにより、補助事業ではなく、賄材料費に上乗せ分・上する。						
令和6年度以降の 方向性	保護者	の経済的負担を軽減するために継続していきたい。						

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

子育て支援の一環として、引き続き補助を継続 したい。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

物価高騰等の経済情勢と経済的負担のバランス を継続的に検討する必要がある。

令和6年3月22日

事業番号		担	当課等			学校教育課	
事務事業名	小中学校等	外国語	活動推進	生事業(幼保・小	学校・中学校)	
予算科目コード	会計	1 款	9 項		3 2	事業開始年度	

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主要	更施 策	細力	施 策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通じ	4 に学び豊 がむまちづく	I 生涯にわた びの推進	さる学	3 华校教育	小·中 ⁴ 充実	(1) 学校教育の	①特色ある 進	が教育の推
関連する個別計画									
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsとの関連				0					
のというと	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	動 14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	外国の	言葉や文	化に理解	を深める	.				
対象	各校児	各校児童生徒							
内 容 外国語指導助手の派遣									

		区 分	令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)	
		事業費	10,894,950	1	14,889,507		12,215,000	
コス	コ人常勤職員							
 -	【件│会計年度任用職員等							
	費	人件費合計	0		0		0	
		総事業費	10,894,950	1	14,889,507		12,215,000	
		国庫支出金						
財		県支出金						
源								
内		その他特定財源						
訳		一般財源	10,894,950	1	14,889,507	12,215,000		
		財源合計	10,894,950	1	14,889,507	12,215,000		
		活動指標	指標設定の理由・考えた	単位	令和3年度	令和4年度	目標値	
					0	0	0	
					0	0	0	
	成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値	
					0	0	0	
					0	0	0	

評 価 5段	は階とその理由を記入(5:高い 4)	けや	高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)
必要性	町が実施する必要があるのか	5	外国の言語や文化の理解を深めることができる。
効 率 性類 似 性	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	幼少期から外国語へ触れる機会を構築
有 効 性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	指導助手(ネイティブ)の発音に触れることができ る。
公平性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	5	各校児童生徒が対象である。

令和4年度までの 自己評価または 改

「小学校外国語活動事業」「中学校外国語活動事業」「幼保小外国語活動推進事 業」を統合して事業意義の強化を図った。

4 見直し及び改善

評価 4区分とその <u>理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能</u> 9:既に実施済み)									
評価 4区分とその 委託・指定管理 導入の可能性	ス(T:可能 2:2562もいえない 3:不可能 9:成に美地済み) 民間事業者へ委託								
	1								
令和5年度の見直し 及び改善予定	引き続き	き充実した外国語教育を実施した。							
令和6年度以降の 方向性	引き続き	引き続き外国語教育に取り組む。							

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

引き続き継続して実施する。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

・次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	0	担当課等		学校教育課	
事務事業名	新型コロナウイ	ルス感染症剤	 		
予算科目コード	会計 1	款 9 項	1 🗏 2	事業開始年度	令和2年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	三目	標	政	策	分	野	主要	更施 策	細	施策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通 かな心を り	4 iじて学 育むま	び豊 ちづく	I 生涯にわた びの推進	たる学	; 学校教育	3	小•中等	(1) 学校教育の	②教育基	盤の充実
関連する個別計画											
	1貧困	21	飢餓	3保健	4教育	5ジェ	ンダー(6水•衛生	フェネルキー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsとの関連					0						
SDGSCの角理	10不平等	等 11	都市	12生産と消費	13気候変	動 14海	羊資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的				び幼稚園に おを推進す			ナウイ	ノルス感染	設定対策 を	と徹底し、	安全•安
対 象	町内名	町内各小中学校、幼稚園の児童・生徒及び教職員									
内容	新型	コロナ	ウイル	⁄ス感染症	対策と	して保留	建衛生	三用品等	を整備する	るもの。	

		区 分	令和3年度(決算)	令	和4年	度(決算)	令和5年月	度(見込)	
		事業費	499,931		499,987			0	
コス	人	常勤職員							
	件 会計年度任用職員等								
	人件費合計		0			0		0	
		総事業費	499,931			499,987		0	
		国庫支出金	499,931			249,000		0	
財		県支出金							
源									
内		その他特定財源							
訳		一般財源	0			250,987	0		
		財源合計	499,931			499,987	0		
		活動指標	指標設定の理由・考えた	5 .	単位	令和3年度	令和4年度	目標値	
						0	0	0	
						0	0	0	
	成果指標		指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値	
						0	0	0	
						0	0	0	

3 令和4年度ま	令和4年度までの事業分析及び改善点									
評価 5段階	皆とその理由	を記入(5:高い 4	: やや	高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)						
必要性	町が実施す	⁻ る必要があるのか	5	児童及び職員等の安全・安心の確保や支援である ため、行政が行います。						
効 率 性 類 似 性	が得られて	用に見合った効果 いるか 類似はないか	5	新型コロナウイルス感染症対策を充実することがで きた。						
有 効 性	事業の目的	りに対して成果が得か	5	新型コロナウイルス感染症対策を充実し、児童が 感染症対策等を習慣化することができた。						
公平性	事業の目的会が均等が	りに対して受益の機 v	4	消耗品が大多数を占めるので、定期的な整備が必要となります。						
令和4年度までの 自己評価または 改善点 コロット コロット コロット コロット コロット コロット コロット コロット										
4 見直し及び改										
評価 4区分	とその理由を	記入(1:可能 2:	どちらと	ともいえない 3 課):						
委託・指定管 導入の可能		性質上、行政	び必要	が必要である。						
令和5年度の 及び改善予		和5年度においても	、保健	衛生用品や備品を整備し、活用していく。						
令和6年度以 方向性	.降の 今1 す。	後とも継続して、感ジ	华症对 分	策を講じた、安全・安心な学校生活の推進を図りま						
5 一次評価(令	和6年度以降	拳の方向性に対する	5評価))						
総合評	価	継続(現状維	(持)	限られた予算の中で、最善な対策に努める必 要性がある。						
		<u>l</u>								
6 財政·計画推	6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)									
7 二次評価(※	7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)									
総合評	価									

令和6年3月22日

事業番号	11244	担当課等		学校教育課	
事務事業名 学校遊具・体育器具等整備事業					
予算科目コード	会計 1	款 9 項	1 目 2	事業開始年度	

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係 基本目標 野 細 施 策 政 策 分 主要施策 3 (1) ゆがわら2022 プラン 前期基本計画 り 生涯を通じて学び豊生涯にわった。 な心を育むまちづく びの推進 り 生涯にわたる学 学校教育 小・中学校教育の ②·③小中学校教育 充実 の充実 関連する個別計画 4教育 1貧困 2飢餓 3保健 | 5シ゛ェンタ゛ー | 6水・衛生 | 7エネルキ゛ー | 8経済成長と雇用 | 9インフラ等 0 SDGsとの関連 10不平等 11都市 | 12生産と消費 | 13気候変動 | 14海洋資源 | 15陸上資源 | 16平和 | 17実行手段 | 該当なし 的 安全な遊具・体育器具の整備 目 対 象 町内小中学校の児童・生徒 内 容 老朽化した遊具・体育器具撤去

	区 分		令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年度(見込)	
	事業費		0		1,025,750		0
コス	人	常勤職員					
 -	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
	総事業費		0		1,025,750		0
	国庫支出金						
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	0		1,025,750		0
		財源合計	0		1,025,750		0
			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

令和4年度ま							
評 価 5段1	皆とその)理由を記	!入(5:高い 4:	やや	高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が多	実施する必	必要があるのか	5	町において、学校の意見を聞き実施する必要があ るため。		
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか			5	安全な遊具・体育器具の整備		
有 効 性		の目的に対 いるか	対して成果が得	4	安全な遊具・体育器具の整備		
公平性		の目的に対 匀等か	対して受益の機	4	全生徒を対象としているため公平性を保っている。 鈴木友則(地域政策 課):		
令和4年度までの 自己評価または 改善点 安全な遊具・体育器具の整備に資する。							
評価 4区分	とその	里由を記り	<u> (1:可能 2:</u> と	ごちらる	≤もいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理 導入の可能性 3 行政が実施する必要がある。							
令和5年度の見直し 及び改善予定 老朽化した遊具等を撤去していく。 鈴木友則(地域政策 課): R4の内容では?							
令和6年度以	ゆの	計画的					

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価) 5 機続 合 評 価 継続(現状維持) 優先度の高いものから、順次計画的に、撤去・ 更新をする。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。) 6

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

一次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号		担当	当課等			学校教育課	
事務事業名 学校給食システム導入事業							
予算科目コード	会計	1 款	9 項		3 2	事 業 開 始 年 度	

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目 標	政	策	分 野	主要	更施 策	細力	施 策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通 かな心を り	4 ごて学び豊 ぎむまちづく	I 生涯にわた びの推進	亡る学 学	3 校教育	小•中 ⁴ 充実	(1) 学校教育の	②小学校都	教育の充実
関連する個別計画									
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsとの関連				0					
SDGSCの財理	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変重	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	学校系	学校給食費公会計化に伴う経費							
対 象	各小学校の児童とその保護者								
内容	公会計	公会計化とするためのシステム改修費							

	区分		令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年度(見込)	
	事業費		0		1,026,750		0
コス	人	常勤職員					
	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	0		1,026,750		0
	国庫支出金						
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	0		1,026,750		0
		財源合計	0		1,026,750		0
			指標設定の理由・考えた	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
	成果指標		指標設定の理由・考えた	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

_	^ 			×-1 -4	_
3	令和4年度まで(り事業分	计和分裂	八公幸:	5

1-11-1-120-4-0-1382-1420-3-1-M							
評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)							
必要性	町が実施する必要があるのか	5	給食費公会計化のために必要				
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	要望の高い事業である。				
有 効 性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	公会計化を円滑に進めることができる。				
公平性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	5	各小学校の児童とその保護者が対象				

令和4年度までの 自己評価または 改善点

給食費公会計化を遅滞なく実施できた。

4 見直し及び改善

・元直に及び以告						
評価 4区分とその理	里由を記え	人(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)				
委託・指定管理 導入の可能性	3	3 行政が実施する必要がある。				
	•					
令和5年度の見直し 及び改善予定	給食費公会計化のシステム導入し運用を開始した。					
令和6年度以降の 方向性	システムを効果的に使用していく。					

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価 完了 公会計化のシステム改修が完了したため。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

О	財政・計画推進の税息からの所見(次合議寺は記入小安です。 空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	完了	
------	----	--

令和6年3月22日

事業番号	10100	担当課等	学校教育課		
事務事業名	事務事業名 理科教育設備整備事業				
予算科目コード	会計 1	款 9 項 1	1 目 2 事業開始年度		

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施策	細	施策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通じ	4 て学び豊 むまちづく	I 生涯にわた びの推進	-3学 学	3 校教育	小・「充実	(1) 中学校教育の	⑩教育施 備の推進	殼∙設備∙整
関連する個別計画									
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育 〇	5ジェンダー	6水•衛:	生 7エネルキー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsとの関連	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資	源 16平和	17実行手段	該当なし
目的		理科・算数及び数学に関する教育(理科教育)を実施するための設備整備を行い、教育振興を図るもの							
対 象	町内小中学校の児童・生徒及び教職員								
内容		学校からの要望を聴取し、観察用顕微鏡や実験・観察器具等を購入し、理科教育 の充実を図りました。							

	区 分		令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年度(見込)			
	事業費		1,995,653		1,892,000	2,014,00			
コス	人	常勤職員	289,780		283,300		297,630		
 -	件	会計年度任用職員等							
	費	人件費合計	289,780		283,300		297,630		
		総事業費	2,285,433		2,175,300		2,311,630		
		国庫支出金	997,000		945,000		956,000		
財		県支出金							
源		地方債							
内		その他特定財源							
訳		一般財源	1,288,433		1,230,300		1,355,630		
		財源合計	2,285,433		2,175,300		2,175,300 2,3		2,311,630
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値		
					0	0	0		
					0	0	0		
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値		
					0	0	0		
					0	0	0		

1-11-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1						
評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4: <u>やや高</u> い 3:普通 2:やや低い 1:低い)						
必要性	町が実施する必要があるのか	5	各学校からの要望に沿って、設備整備をするの で、町が行います。			
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	設備整備の充実をすることで、理科教育等の振興 を図ることができる。			
有 効 性	事業の目的に対して成果が得 られているか	4	教職員の指導方法をより充実させることで、児童・ 生徒の学習意欲等の向上を図ります。			
公 平 性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	4	各学校からの要望を伺い、精査をしながら学校に 整備しています。			

令和4年度までの 自己評価または 改善点

国庫補助制度を活用し、学校からの要望を計画的に整備することができた。

4 見直し及び改善

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						
評価 4区分とその3	里由を記力	N(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)				
委託・指定管理 導入の可能性	3 学校からの要望を集約する必要があるので、町が行います。					
令和5年度の見直し 及び改善予定	学校か	らの要望をとりまとめ、理科備品等を計画的に整備していく。				
令和6年度以降の 方向性	国庫補助制度を活用しながら、今後も継続して必要な整備を進める。					

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

計画的な整備を行い、理科教育等の振興を図る。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

一次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号		担当課等		学校教育課	
事務事業名	事務事業名 学校施設整備事業(明繰)				
予算科目コード	会計 1	款 9 項	1 🗏 2	事 業 開 始 年 度	•

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施策	細が	拖 策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通り	4 ンて学び豊 うむまちつ	I 生涯にわっ びの推進	たる学	3 学校教育	小•中 充実	(1) 学校教育の	⑩教育施記 備の推進	役∙設備∙整
関連する個別計画									
	1貧困	2飢餌	3保健	4教育	5ジェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsとの関連				0					
SDGSCの規定	10不平等	11都7	12生産と消費	13気候変	動 14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	小中学	校施設	の整備						
対 象	小中学校の施設								
内容	小中学	小中学校消防用設備改修工事							

	区 分		令和3年度(決算)	令和]4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
		事業費	0			2,827,000		0
コス	人	常勤職員						
\hat{\chi}	件	会計年度任用職員等						
	費	人件費合計	0			0		0
		総事業費	0			2,827,000		0
		国庫支出金						
財		県支出金						
源		地方債						
内		その他特定財源						
訳		一般財源	0			2,827,000		0
		財源合計	0			2,827,000		0
		活動指標	指標設定の理由・考えた	5 単	位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考えた	単	i位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0

The first of the second of the							
評価	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)						
必要	性	町が実施する必要があるのか	5	老朽化した施設・設備は、計画的に回収する必要 がある。			
		投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	老朽化した施設・設備は、計画的に回収する必要 がある。			
有効	性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	老朽化した施設・設備は、計画的に回収する必要 がある。			
公 平	性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	5	各学校の在校生が対象			

令和4	年 庶	ま で	\mathcal{L}
自己評改	善善		14
LX.	普	点	

小中学校消防用設備を改修できた。

4 見直し及び改善

評価 4区分とそのま	評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)						
委託・指定管理 導入の可能性	3 行政が実施する必要がある。						
令和5年度の見直し 及び改善予定	小中学	小中学校消防用設備については、必要に応じ適切に改修していく。					
令和6年度以降の 方向性	優先順位の高いものから改修していく。						

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

老朽化したものから計画的に改修する必要があ る。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

令和6年3月22日

事業番号	5107	担当課等	湯河原小学校				
事務事業名 学校支援ボランティア活用事業(湯河原小学校)							
予算科目コード	会計 1	款 9 項	2 目 1 事業開始年度				

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目	標	政	策	分	野	主要	更施 策	細	施	策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通 かな心を り	4 じて学 育むま	び豊 ちづく	I 生涯にわた びの推進	こる学 生	3 学校教育		小•中 ⁴ 充実	(1) 学校教育の	②小学村	交教育	の充実
関連する個別計画												
SDGsとの関連	1貧困		飢餓	3保健	4教育 〇	5シェン	ンダー 67	水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇	91	ンフラ等
UDGSCVA定	10不平等	手 11	<u>都市</u>	12生産と消費	13気候変	動 14海洋	≛資源 15	陸上資源	16平和	17実行手	段該	当なし
目的	地域の 推進す。		・にカゝ	かわってい	ハただき	、地域	との連打	隽を図り	り、児童を	育てる	教育 5	環境を
対 象	地域0	地域のボランティア										
内容	授業はアに携え				ートや、 :	学校図	書館の	蔵書整	理などに	地域の	ボラン	/ ティ

		区 分	令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
		事業費	109,362		109,580		120,000
コス	常勤職員						
 -	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	109,362		109,580		120,000
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	109,362		109,580	120,000	
		財源合計	109,362		109,580	120,000	
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

評価	5段階	まとその理由を記入(5:高い 4:	やや	Sい 3:普通 2:やや低い 1:低い)
必要	生性	町が実施する必要があるのか	5	学校の様々な場面において地域ボランティアにか かわってもらうことで、学校環境の維持向上を図るこ とができる。
効 率 類 似	.—	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	学校の様々な場面において地域ボランティアにかかわってもらうことで、学校環境の維持向上を図ることができる。
有效	」性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	地域の方が多く学校現場に接してもらうことで、地域と学習の連携が図られるとともに、教育現場の透明性を図ることができる。
公 平	生性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	5	学校環境の維持向上及び透明性が確保されること で児童・生徒の学校生活の向上につながる。

令和4年度までの 自己評価または 改善点

新型コロナウイルス感染症の影響により縮小していた活動を再開することができた。 た。

4 見直し及び改善

評価 4区分とその	里由を記え	N(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)							
委託・指定管理 導入の可能性	3	事業の性格上、学校として行う必要があると考える。							
令和5年度の見直し 及び改善予定	感染対	策に留意しながら、地域と連携を図っていく。							
令和6年度以降の 方向性	今後も、	学校運営の向上を図るよう取り組む。							

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

学校環境の維持向上をボランティアの協力をい ただき継続的に図る必要がある。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

一次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	担当課等 湯河原小学校						
事務事業名 児童用机・椅子・教卓等整備事業(湯河原小学校)							
予算科目コード	会計 1	款 9 項	2 目 1	事業開始年度	5116		

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施策	細力	施 策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通じ かな心を育 り	- て学び豊	I 生涯にわた びの推進	-3学 学	3 校教育	小·中 充実	(1) 『学校教育の	①教育施記 備の推進	改∙設備∙整
関連する個別計画									
000 L 0 887	1貧困	2飢餓	3保健	4教育 〇	5ジェンダー	6水•衛生	E 7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsとの関連	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	原 16平和	17実行手段	該当なし
目的	児童用 境を整備		教卓等の	学校用品	品を更新し	、児童が	学全•安心	心て学習	できる環
対 象	湯河原	湯河原小学校							
内容		品は、机の	教卓等の の天板を引			て使用し	ており、修	繕不能と	なるもの

		区 分	令和3年度(決算)	令和4:	年度(決算)	令和5年	度(見込)
		事業費	53,955		35,411		68,000
コス	人常勤職員						
<u>`</u>	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	53,955		35,411		68,000
		国庫支出金					
財		県支出金					
源							
内		その他特定財源		••••••			
訳		一般財源	53,955	35,411			68,000
		財源合計	53,955		35,411	68,000	
		活動指標	指標設定の理由・考えた	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
	成果指標		指標設定の理由・考えた	単位	単位 令和3年度		目標値
					0	0	0
					0	0	0

評価 5段階	皆とその理由を記入(5:高い 4:	やや	高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)								
必要性	町が実施する必要があるのか	5	児童が使用する机等の更新を図るため必要。								
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	長年の使用により破損する机等があるため、定期 的に更新している。								
有 効 性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	長年の使用により破損する机等があるため、定期 的に更新している。								
公 平 性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	4	長年の使用により破損する机等があるため、定期 的に更新している。								

令和4年度までの 自己評価または 改善点

適宜更新することができている。

4 見直し及び改善

元正の人の以上										
評価 4区分とその3	埋由を記り	人(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)								
委託・指定管理 導入の可能性	3	備品等の修繕及び更新事業のため、行政として行う必要があると考える。								
令和5年度の見直し 及び改善予定	学校の	要望を的確に把握し、更新していく。								
令和6年度以降の 方向性	現状維	持。児童数の推移を注視していく。								

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

破損したり古くなった机・椅子を定期的に更新し ていく。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

り 別以・計画推進の代点からの別元(次省誌寺は記八个安です。 主欄のよる提出していたでい。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

一次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号		担当課等 湯河原小学校							
事務事業名 新型コロナウイルス感染症対策事業(湯河原小学校)									
予算科目コード	予算科目コード 会計 1 款 9 項 2 目 1 事業開始年度 令和2年度								

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施 策	細が	拖 策	
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通じ	4 て学び豊 むまちづく	I 生涯にわた びの推進	こる学 学	3 校教育	小·中 [:] 充実	(1) 学校教育の	②小学校都	教育の充実	
関連する個別計画										
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育 〇	5ジェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等	
SDGSCV居住	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし	
目的	学校に 推進する		型コロナウ	イルス感	染症対策	を徹底し	、安全•安	心な学校	生活を	
対 象	湯河原	湯河原小学校の児童及び教職員								
内容	新型コ	新型コロナウイルス感染症対策として保健衛生用品や備品を整備する。								

	区 分		令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
	事業費		1,309,467	1,350,000			680,000
コス	人	常勤職員					
 -	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	1,309,467		1,350,000		680,000
		国庫支出金	1,309,467		675,000		340,000
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	0		675,000		340,000
		財源合計	1,309,467		1,350,000		680,000
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

評価 5月	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)							
必要性	町が実施する必要があるのか	5	児童及び教職員等の安全・安心の確保や支援で あるため、行政が行います。					
効 率 性類 似 性	が得られているか	5	新型コロナウイルス感染症対策を充実することがで きた。					
有効性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	新型コロナウイルス感染症対策を充実し、児童が 感染症対策等を習慣化することができた。					
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	消耗品が大多数を占めるので、定期的な整備が必 要となります。					

令和4年度までの 自己評価または 改

国庫補助制度を活用し、迅速に消毒液、網戸等の保健衛生用品や、備品を整備 し、感染症対策を講じた学校運営を行うことができた。

4 見直し及び改善

一元臣の人の以口					
評価 4区分とその理	里由を記え	【(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)			
委託・指定管理 導入の可能性 3 性質上、行政が実施する必要がある。					
令和5年度の見直し 及び改善予定	令和5 ^左	F度においても、保 健 衛生用品や備品の整備をし活用していく。			
令和6年度以降の 方向性 今後も継続して、感染症対策を講じ安全・安心な学校生活を推進します。					

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

限られた予算の中で、最善な対策に努める必 要性がある。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

·次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号		担当課等	;	湯河原小学校		
事務事業名	図書等整備事	業(湯河原/	\学校)			
予算科目コード	会計 1	款 9 項	2 目 2 事業開始年度 令和3年度			

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施策	細	施策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通じ	4 こて学び隻 ずむまちつ	I 生涯にわが びの推進	たる学学	3 校教育	小•中 充実	(1) '学校教育の	②小学校	教育の充実
関連する個別計画									
	1貧困	2飢餌	3保健	4教育 〇	5ジェンダー	6水•衛生	E 7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsとの関連	10不平等	11都7	12生産と消費	13気候変動	加 14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	学校図 上図るも		実や、多様	<u>.</u> 化する学	習内容へ	対応して	いくための	. 教師の	資質向
対象湯河原小学校児童及び教職員									
内 容 学校図書館における児童用図書、教師用指導書、教育振興教材備品を購入・! 備するもの。						購入·整			

	区 分		令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
	事業費		1,037,965	1,099,966			1,100,000
コス	人	常勤職員					
\	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	1,037,965		1,099,966		1,100,000
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	1,037,965		1,099,966		1,100,000
		財源合計	1,037,965		1,099,966		1,100,000
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

To the Control of the								
評 価 5段	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4 <u>:やや高</u> い 3:普通 2:やや低い 1:低い)							
必要性	町が実施する必要があるのか	5	文部科学省の学校図書館整備計画に基づき学校 図書館の蔵書等の充実を図るもの。					
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促 進できる。					
有 効 性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促 進できる。					
公 平 性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促 進できる。					

改

令和4年度までの ○ 令和2年度までの「図書整備事業」、「指導用図書等整備事業」及び「教育振興教 自己評価または 材備品事業」を統合したもので、事務のスリム化を図った。 また、学校において児童用図書等の整備を行った。

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理	田山を記し	N(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)
表託・指定管理 導入の可能性	3	学校図書館の蔵書整備等のため、行政として行う必要があると考える。
令和5年度の見直し 及び改善予定	学校の	要望を的確に把握し、過不足なく整備していく。
令和6年度以降の 方向性	整備す	べき備品等については、今後とも継続して行う必要がある。

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

定期的な整備を要します。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

・次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	12462	担当課等	湯河原小学校			
事務事業名	外部教育力活	用事業(湯河	原小学校)			
予算科目コード	会計 1	款 9 項	2 目 2 事業開始年度 令和3年度			

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施 策	細力	施 策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じ かな心を育 り	- て学び豊	I 生涯にわた びの推進	こる学 学	3 校教育	小·中 ⁴ 充実	(1) 学校教育の	②小学校	教育の充実
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育 〇	5シェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGSCの角建	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的			きし講演会 交教育活!		することで、 を図る。	、国際文化	化学習や	心身の発	達と個性
対象湯河原小学校児童及び教職員									
内容	国際理	解教育や	卒業記念	に係る講	背演会等を	実施する	もの。		

	区 分		令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
	事業費		67,924	57,645			108,000
コス	人	常勤職員					
<u>`</u>	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	67,924		57,645		108,000
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	67,924	57,645			108,000
		財源合計	67,924		57,645		108,000
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

評価	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)						
必	要性	町が実施する必要があるのか	5	国際文化学習等について、児童を対象に講演会 を実施しているため。			
効類	率 性似 性	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	講演会の開催により、児童の学習面において、より 充実したものにできている。			
有	効 性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	講演会の開催により、児童の学習面において、より 充実したものにできている。			
公	平 性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	4	特定の学年を対象としているため公平性を保って いる。			

令和4年度までの 改

令和2年度までの「国際理解教育推進事業」、「地域教育力活用事業」及び「卒業 自己評価または記念講演会開催事業」を統合したもので、事務のスリム化を図った。 また、外部講師をお招きし講演会を開催し、学校教育活動の充実を図った。

4 見直し及び改善

評価 4区分とその3	甲山を記	入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)
委託・指定管理 導入の可能性	3	講演会を開催することで、児童及び教職員の教育活動の充実を図るため。
令和5年度の見直し 及び改善予定	今後も	継続実施する。
令和6年度以降の 方向性	引き続	き、学校教育活動の充実を図る一助となるよう取り組む。

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

継続して事業を実施することにより、児童及び 教職員の教育活動の充実を図る必要がある。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

·次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	5209	担当課等		湯河原小学校			
事務事業名	事務事業名 給食施設整備事業(明繰)(湯河原小学校)						
予算科目コード	会計 1	款 9 項	2 目 3	事 業 開 始 年 度			

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施策	細が	施 策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通じ	4 こて学び豊 ずむまちづく	I 生涯にわた びの推進	さる学	3 华校教育	小•中 充実	(1) 学校教育の	⑩教育施記 備の推進	役∙設備∙整
関連する個別計画									
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsとの関連				0					
SDGSCの規定	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	安心·领	安全な給か	食の提供						
対 象	湯河原	湯河原小学校児童及び教職員							
内容	ガス回	転窯の更	新						

-		区 分	令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
	事業費		194,000		583,550		0
コス	人	常勤職員					
<u>`</u>	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	194,000		583,550		0
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	194,000		583,550		0
		財源合計	194,000		583,550		0
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

評価	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)								
必要	更 性	町が実施する必要があるのか	5	定期的な更新が必要である。					
効 率 類 似		投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	安全な給食を提供することができる。					
有效	力性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	安全な給食を提供することができる。					
公平	生性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	5	安全な給食を提供することができる。					

令和4:	年 度	まで	σ
自己部			
改	善善	点	

令和4年度は、ガス回転釜を更新しました。

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理	里由を記え	l(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)					
委託・指定管理 導入の可能性	3						
令和5年度の見直し 及び改善予定	安心•罗	そ全な給食の提供に資するため、適宜整備していく。					
令和6年度以降の 方向性	更新や	修繕が必要な給食室設備については、計画的な整備をする必要がある。					

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

児童への安全な給食の提供のため、定期的な 更新が必要である。

6	財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記人个要です。空禰のまま提出してくたさい。/

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総	\triangle	評	橅
小心		可丁	Т

継続(現状維持)

・次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	5302	担当課等		吉浜小学校			
事務事業名	事務事業名 学校支援ボランティア活用事業(吉浜小学校)						
予算科目コード	会計 1	款 9 項	3 目 1	事業開始年度			

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基	本	目標	政	策	分	野	主要	更施 策	細	施	策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生 涯 を かな心 り	4 通じて を育む	く学び豊 でまちづく	I 生涯にわた びの推進	よる学	姜 学校教育			(1) 学校教育の	②小学校	教育 ₹	充実
関連する個別計画												
	1貧	圡	2飢餓	3保健	4教育	5ジェ	ンダー 6	水・衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇	■ 9イン	フラ等
SDGsとの関連					0							
SDUSCO房廷	10不平	- 等	11都市	12生産と消費	13気候変	動 14海洋	羊資源 1	5陸上資源	16平和	17実行手具	段 該当	なし
目的	地域推進す			かわってい	ハただき	、地域	との連	携を図り)、児童を	育てる参	育環	境を
対 象	地域	地域のボランティア										
内容		7	らける教 っていた7	•	ートや、	学校図	書館♂)蔵書整	理などに	地域の対	 ベラン 🤊	ティ

		区 分	令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
		事業費	114,860		114,785		95,000
コス	人	常勤職員					
 -	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	114,860		114,785		95,000
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	114,860		114,785		95,000
		財源合計	114,860		114,785		95,000
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

TO THE COMPANY AND A STATE BY MADE AND THE								
評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)								
必要性	町が実施する必要があるのか	5	学校の様々な場面において地域ボランティアにか かわってもらうことで、学校環境の維持向上を図るこ とができる。					
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	学校の様々な場面において地域ボランティアにか かわってもらうことで、学校環境の維持向上を図るこ とができる。					
有 効 性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	地域の方が多く学校現場に接してもらうことで、地域と学習の連携が図られるとともに、教育現場の透明性を図ることができる。					
公 平 性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	5	学校環境の維持向上及び透明性が確保されること で児童・生徒の学校生活の向上につながる。					

令和4年度までの 自己評価または 改善点

新型コロナウイルス感染症の影響により縮小していた活動を再開することができ た。

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)									
評価 4区分とその理	<u>埋田を記ん</u>	人(1:可能 2:とららともいえない 3:不可能 9:既に美肔済み)							
委託・指定管理 導入の可能性	3 事業の性格上、学校として行う必要があると考える。								
令和5年度の見直し 及び改善予定	感染対	策に留意しながら、地域と連携を図っていく。							
令和6年度以降の 方向性	今後も、	学校運営の向上を図るよう取り組む。							

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

学校環境の維持向上をボランティアの協力をい ただき継続的に図る必要がある。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

一次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	5298	担当課等	吉浜小学校
事務事業名	児童用机•椅子	• 教卓等整備	事業(吉浜小学校)
予算科目コード	会計 1	款 9 項	3 目 1 事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施策	細力	施策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じ かな心を育 り	- て学び豊	I 生涯にわた びの推進	こる学 学	3 校教育	小·中 充実	(1) 『学校教育の	⑩教育施 備の推進	投∙設備•整
関連する個別計画									
SDC-トの朋連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育 〇	5シェンダー	6水•衛生	主 7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsとの関連	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資	原 16平和	17実行手段	該当なし
目的	児童用 境を整備		教卓等の	学校用品	品を更新し	、児童か	ぶ安全・安心	ルして学習	できる環
対 象	吉浜小学校								
内容		品は、机の	教卓等の の天板を引			て使用し	ており、修	繕不能と	なるもの

	区 分		令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
	事業費		149,600		149,930		160,000
コス	人	常勤職員					
	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	149,600		149,930		160,000
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	149,600	149,930			160,000
		財源合計	149,600		149,930		160,000
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

評価	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)								
必要	性	町が実施する必要があるのか	5	児童が使用する机等の更新を図るため必要。					
効 率 類 似		投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	長年の使用により破損する机等があるため、定期 的に更新している。					
有効	性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	長年の使用により破損する机等があるため、定期 的に更新している。					
公 平	性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	4	長年の使用により破損する机等があるため、定期 的に更新している。					

令和4年度までの 自己評価または 改善点

適宜更新することができている。

4 見直し及び改善

· LEOKO WA									
評価 4区分とその理	里由を記力	N(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)							
委託・指定管理 導入の可能性	3 備品等の修繕及び更新事業のため、行政として行う必要があると考								
令和5年度の見直し 及び改善予定	学校の	要望を的確に把握し、更新していく。							
令和6年度以降の 方向性	現状維持。児童数の推移を注視していく。								

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

破損したり古くなった机・椅子を定期的に更新し ていく。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

一次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	号 11906 担当課等 吉浜小学校					
事務事業名	新型コロナウイ	ルス感染症え	 策事業(吉浜/	/学校)		
予算科目コード 会計 1 款 9 項 3 目 1 事業開始年度 令和2年度						

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目	標	政	策	分	野	È	要	施策	細	施	策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通 かな心を り	4 じて学 育むま	び豊 ちづく	I 生涯にわた びの推進	さる学	学校教	3 育	小· 充5	中学	(1) 学校教育の	①教育施 備の推進		備・整
関連する個別計画													
	1貧困	2負	讥餓	3保健	4教育	う 5シ	゛ェンタ゛ー	6水•徫	生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇	■ 9イン	フラ等
SDGsとの関連					0								
SDGSCV房建	10不平等	手 11:	都市	12生産と消費	13気候変	医動 14%	与洋資源	15陸上資	資源	16平和	17実行手段	該当	なし
目的	学校に 推進しる		る新2	型コロナウ	イルス	感染症	主対策	を徹底	に、	安全•安	心な学を	往生活	を
対象 吉浜小学校の児童及び教職員													
内容	新型=	コロナ	ウイル	⁄ス感染症	対策と	して保	健衛	生用品	等を	・整備し	ます。		

	区 分		区 分 令和3年度(決算)		度(決算)	令和5年度(見込)	
	事業費		1,366,516		1,350,000		1,020,000
コス	人	常勤職員					
 -	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	1,366,516		1,350,000		1,020,000
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	1,366,516	1,350,000			1,020,000
		財源合計	1,366,516	1,350,000			1,020,000
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

The state of the s									
評価 5月	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4 <u>:やや高</u> い 3:普通 2:やや低い 1:低い)								
必要性	町が実施する必要があるのか	5	児童及び教職員等の安全・安心の確保や支援で あるため、行政が行います。						
効 率 性類 似 性	が得られているか	5	新型コロナウイルス感染症対策を充実することがで きた。						
有効性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	新型コロナウイルス感染症対策を充実し、児童が 感染症対策等を習慣化することができた。						
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	消耗品が大多数を占めるので、定期的な整備が必 要となります。						

令和4年度までの

国庫補助制度を活用し、迅速に消毒液、パーテーション等の保健衛生用品や、備 自己評価または | 国連備助刑及では用し、必必には扱い、
品を整備し、感染症対策を講じた学校運営を行うことができた。

4 見直し及び改善

評価 4区分とその3	里由を記え	【(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)					
委託・指定管理 導入の可能性	3	性質上、行政が必要である。					
令和5年度の見直し 及び改善予定	令和5年	F度においても、保健衛生用品や備品の整備をし活用していく。					
令和6年度以降の 方向性	今後も	継続して、感染症対策を講じ安全・安心な学校生活を推進します。					

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

限られた予算の中で、最善な対策に努める必 要性がある。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

·次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	12463	担当課等	吉浜小学校			
事務事業名	図書等整備事	事業(吉浜小学校)				
予算科目コード	予算科目コード 会計 1 款 9 項 3 目 2 事業開始年度 令和3年度					

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施策	細力	施 策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	を 生涯を通じ かな心を育 り	て学び豊	I 生涯にわた びの推進	-3学 学	3 校教育	小•中 充実	(1) 学校教育の	②小学校	教育の充実
関連する個別計画									
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育 〇	5ジェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsとの関連	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	学校図 上図るも		や、多様	化する学	習内容へ対	対応して	いくための	、教師の	資質向
対象吉浜小学校児童及び教職員									
内容	学校図備するもの		ける児童	用図書、	数 師用指達	尊書、教 [·]	育振興教林	オ備品を関	

		区 分	令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
		事業費	699,467	1,049,528		700,00	
コス	人	常勤職員					
	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	699,467		1,049,528		700,000
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	699,467		1,049,528	700,000	
		財源合計	699,467		1,049,528	700,000	
	_	活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

評价	5	5段階	tとその理由を記入(5:高い 4:	おかけ	高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)
必	要	性	町が実施する必要があるのか	5	文部科学省の学校図書館整備計画に基づき学校 図書館の蔵書等の充実を図るもの。
効類	率似		投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促 進できる。
有	効	性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促 進できる。
公	平	性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か		蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促 進できる。

改

令和4年度までの ○ 令和2年度までの「図書整備事業」、「指導用図書等整備事業」及び「教育振興教 自己評価または 材備品事業」を統合したもので、事務のスリム化を図った。 また、学校において児童用図書等の整備を行った。

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)									
表託・指定管理 導入の可能性	3	学校図書館の蔵書整備等のため、行政として行う必要があると考える。							
令和5年度の見直し 及び改善予定	学校の	要望を的確に把握し、過不足なく整備していく。							
令和6年度以降の 方向性	整備す	べき備品等については、今後とも継続して行う必要がある。							

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

定期的な整備を要します。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

・次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	12464	担当課等	吉浜小学校			
事務事業名	総合的学習等	推進事業(吉	浜小学校)			
予算科目コード	会計 1	款 9 項	3 🗐 2	事業開始年度	令和3年度	

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	更施 策	細力	施 策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	を 生涯を通じ かな心を育 り	- て学び豊	I 生涯にわた びの推進	る学 学	3 校教育	小·中 ⁴ 充実	(1) 学校教育の	②小学校都	教育の充実
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育 〇	5シェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGSCの財産	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変重	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	な課題な		て学習を		調べ学習 。また、全				
対象吉浜小学校児童及び教職員									
内 容 教職員の資質向上を図るもの。 町が推進する「緑と花のある町づくり」に連動し、情操教育の推進を図る。									

		区 分	令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
		事業費	149,902	149,720		140,000	
コス	人	常勤職員					
<u>`</u>	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	149,902		149,720		140,000
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	149,902		149,720	140,000	
		財源合計	149,902		149,720	140,000	
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

_	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1										
	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)										
	必	要	性	町が実施する必要があるのか	5	総合的な学習内容の充実を図るため、学校において事業を実施する必要がある。					
		率似	.—	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	総合的な学習内容をより充実したものにできてい る。					
	有	効	性	事業の目的に対して成果が得 られているか		総合的な学習内容をより充実したものにできてい る。					
	公	平	性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	5	全児童を対象としているため公平性を保っている。					

令和4年度までの 改

令和2年度までの「教育研究発表事業」、「花いっぱい教育推進事業」及び「総合 自己評価または的学習推進事業」を統合したもので、事務のスリム化を図った。 また、学校において総合的な学習の推進を図ることができた。

4 見直し及び改善

評価 4区分とその	理由を記え	l(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)			
委託・指定管理 導入の可能性	3	児童及び教職員が総合的な学習を推進するため。			
令和5年度の見直し 及び改善予定	今後も約	継続実施する。			
令和6年度以降の 方向性	引き続き	き、各学年の発達段階に応じた学習内容を検討する。			

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

継続して事業を実施することにより、児童の学習 意欲の向上及び教職員の資質の向上を図る必 要がある。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

	,,,,,,,	A 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	0 — [[[]] = 0 = 0 = 15 C	,
Г					

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

·次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	12465	担当課等	吉浜小学校			
事務事業名	外部教育力活	用事業(吉浜	小学校)			
予算科目コード	算科目コード 会計 1 款 9 項 3 目 2 事業開始年度 令和3年度					

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施策	細	施策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じ かな心を育 り	- て学び豊	I 生涯にわた びの推進	こる学 学	3 校教育	小·中 充実	(1) 学校教育の	②小学校	教育の充実
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育 〇	5シェンター	6水 衛生	フェネルキー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGSCV发達	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変重	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的			きし講演会 交教育活!		することで を図る。	、国際文	化学習や	心身の発	達と個性
対 象	吉浜小	吉浜小学校児童及び教職員							
内容国際理解教育や卒業記念に係る講演会等を実施するもの。									

		区 分	令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
		事業費	30,000		55,000		50,000
コス	人	常勤職員					
 -	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	30,000		55,000		50,000
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	30,000		55,000		50,000
		財源合計	30,000		55,000		50,000
	_	活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

評 価 5段	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)								
必要性	町が実施する必要があるのか	5	国際文化学習として、児童を対象に講演会を実施 しているため。						
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	講演会の開催により、児童の学習面において、より 充実したものにできている。						
有 効 性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	講演会の開催により、児童の学習面において、より 充実したものにできている。						
公 平 性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	4	毎年、特定の学年を対象としているため公平性を 保っている。						

令和4年度までの 改

令和2年度までの「国際理解教育推進事業」、「地域教育力活用事業」及び「卒業 自己評価または記念講演会開催事業」を統合したもので、事務のスリム化を図った。 また、外部講師をお招きし講演会を開催し、学校教育活動の充実を図った。

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理	里由を記え	人(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)						
委託・指定管理 導入の可能性	વ	港湾会な開催することで、旧会及び教際目の教育運動の本生な図え						
令和5年度の見直し 及び改善予定	今後も	継続実施する。						
令和6年度以降の 方向性	引き続	き、学校教育活動の充実を図る一助となるよう取り組む。						

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

継続して事業を実施することにより、児童及び 教職員の教育活動の充実を図る必要がある。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

·次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	5390	担当課等	吉浜小学校				
事務事業名	事務事業名給食施設整備事業(明繰)(吉浜小学校)						
予算科目コード	会計 1	款 9 項 3	目 3 事業開始年度				

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目 標	政	策	分 野	主要	更施 策	細が	拖 策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通じ	4 て学び豊 がむまちづく	I 生涯にわた びの推進	よる学 学	3 校教育	小·中 ⁴ 充実	(1) 学校教育の	⑩教育施記 備の推進	役∙設備∙整
関連する個別計画									
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsとの関連				0					
SDUSCU房建	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変重	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	安心•5	安全な給食	食の提供						
対 象	吉浜小	吉浜小学校児童及び教職員							
内容	給湯室	給湯室給湯器改修							

		区 分	令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
		事業費	531,982		649,000		523,000
コス	人	常勤職員					
 	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	531,982		649,000		523,000
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	531,982		649,000		523,000
		財源合計	531,982		649,000		523,000
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

評估	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)								
必	要	性	町が実施する必要があるのか	5	安心・安全な給食の提供に資する。				
効類	率似		投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	安全に給食を提供できる。				
有	効	性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	安全に給食を提供できる。				
公	平	性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	5	在校生及び教職員に給食を提供している。				

令和4		
自己部	どっぱっぱい	または
改	善	点

令和4年度は、給湯器を更新しました。

4 見直し及び改善

一元正の人の以口								
評価 4区分とその3	埋田を記り	人(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)						
委託・指定管理 導入の可能性	3							
		<u> </u>						
令和5年度の見直し 及び改善予定	定期的	な更新により、安心面・衛生面の向上となります。						
令和6年度以降の 方向性	更新や	修繕が必要な給食室設備については、計画的な整備をする必要がある。						

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

児童への安全な給食の提供のため、定期的な 更新が必要である。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

・次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	事業番号 5493 担当課等 東台福浦小学校						
事務事業名	事務事業名 学校支援ボランティア活用事業(東台福浦小学校)						
予算科目コード	会計 1	款 9 項	4 目 1 事業開始年度				

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施策	細	施	策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通じ	4 ごて学び豊 うむまちつ	I 生涯にわが びの推進	たる学	3 华校教育	小· 充身	(1) 中学校教育の そ	の ②小学	校教育	の充実
関連する個別計画										
SDGsとの関連	1貧困	2飢餌	3保健	4教育 〇	5ジェンダー	6水•衛	生 7エネルキ゛	- 8経済成長と	雇用 91	′ンフラ等
SDGSCの財産	10不平等	11都7	7 12生産と消費	13気候変動	加 14海洋資源	15陸上資	图 16平利	17実行手	段該	当なし
目的	地域の推進する		かかわって	いただき	、地域との	連携を	図り、児童	を育てる	教育组	環境を
対 象	地域の	地域のボランティア								
内容	授業に アに携ね		教師のサポー ただく。	— 	学校図書館	の蔵書	整理などに	こ地域の	ボラン	/ティ

		区 分	令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
		事業費	91,694	93,360			115,000
コス	人	常勤職員					
 -	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	91,694		93,360		115,000
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	91,694	93,360			115,000
		財源合計	91,694		93,360		115,000
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

	「行行・一人」という。							
評個	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)							
必	要	性	町が実施する必要があるのか	5	学校の様々な場面において地域ボランティアにか かわってもらうことで、学校環境の維持向上を図るこ とができる。			
	率似		投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	学校の様々な場面において地域ボランティアにか かわってもらうことで、学校環境の維持向上を図るこ とができる。			
有	効	性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	地域の方が多く学校現場に接してもらうことで、地域と学習の連携が図られるとともに、教育現場の透明性を図ることができる。			
公	平	性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	5	学校環境の維持向上及び透明性が確保されること で児童・生徒の学校生活の向上につながる。			

令和4年度までの ^{♥和4+及6} 自己評価または た。 改

新型コロナウイルス感染症の影響により縮小していた活動を再開することができ

4 見直し及び改善

, ALEUNO WH									
評価 4区分と	<u>:その理由を記</u>	<u>入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)</u>							
委託・指定管 導入の可能		事業の性格上、学校として行う必要があると考える。							
	•								
令和5年度の見 及び改善予		策に留意しながら、地域と連携を図っていく。							
令和6年度以 方向性	降の 今後も	、学校運営の向上を図るよう取り組む。							

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

学校環境の維持向上をボランティアの協力をい ただき継続的に図る必要がある。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

·次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	5505	担当課等		東台福浦小学校	
事務事業名	児童用机•椅子	一•教卓等整備	事業(東台福油	甫小学校)	
予算科目コード	会計 1	款 9 項	4 目 1	事業開始年度	

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施策	細が	拖 策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	を 生涯を通じ かな心を育 り	- て学び豊	I 生涯にわた びの推進	-3学 学	3 校教育	小•中 充実	(1) 学校教育の	⑩教育施記 備の推進	役∙設備∙整
関連する個別計画									
500-4の間油	1貧困	2飢餓	3保健	4教育 〇	5ジェンダー	6水•衛生	7エネルキー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsとの関連 	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	児童用 環境を整		教卓等の	学校用品	品を更新し	、児童が	•安全·安	心して学	望できる
対 象	東台福浦小学校								
内容		品は、机の	教卓等の の天板を引			て使用し	ており、修	繕不能と	なるもの

-		区 分	令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
		事業費	132,000	123,200		134,00	
コス	一. 一. 一. 一.						
<u>`</u>	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	132,000		123,200		134,000
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	132,000	123,200			134,000
		財源合計	132,000		123,200	134,000	
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

評価 5段階	皆とその理由を記入(5:高い 4:	やや	高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)				
必要性	町が実施する必要があるのか	5	児童が使用する机等の更新を図るため必要。				
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	長年の使用により破損する机等があるため、定期 的に更新している。				
有 効 性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	長年の使用により破損する机等があるため、定期 的に更新している。				
公 平 性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	4	長年の使用により破損する机等があるため、定期 的に更新している。				

令和4年度までの 自己評価または 改善点

適宜更新することができている。

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)								
評価 4区分とその3 委託・指定管理 導入の可能性	3 3	((1:可能 2:2562もいえない 3:不可能 9:成に美胞済み) 備品等の修繕及び更新事業のため、行政として行う必要があると考える。						
令和5年度の見直し 及び改善予定	学校の	要望を的確に把握し、更新していく。						
令和6年度以降の 方向性	現状維	持。児童数の推移を注視していく。						

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

破損したり古くなった机・椅子を定期的に更新し ていく。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

一次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号		担	当課等	Ť		東台福浦小学校
事務事業名	校舎等整例	備事業(東台福港	浦小学 校	交)	
予算科目コード	会計	1 款	9 1	頁 4	目 1	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	更施 策	細が	拖 策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じ かな心を育 り	1 て学び豊 むまちづく	I 生涯にわた びの推進	こる学 学	3 校教育	小·中 ⁴ 充実	(1) 学校教育の	⑩教育施記 備の推進	役∙設備∙整
関連する個別計画									
CDC- Lの間油	1貧困	2飢餓	3保健	4教育 〇	5シェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsとの関連	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	学校の	修繕必要	箇所やエ	事必要領	節所を計画	的に改修	し、維持な	管理を図る	3 もの。
対 象	東台福	浦小学校							
内容	体育館	度実施工 屋上改修 ンプ更新	工事						

		区 分	令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
		事業費	7,759,888	23,599,950		18,194,000	
コス	人	常勤職員					
<u>`</u>	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	7,759,888		23,599,950		18,194,000
		国庫支出金			1,000,000		
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	7,759,888	22,599,950		18,194,000	
		財源合計	7,759,888		23,599,950	18,194,000	
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

評品	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4: <u>やや高</u> い 3:普通 2:やや低い 1:低い)								
必	要	性	町が実施する必要があるのか	4	町立小学校の維持管理や改修については、学校と 連携し実施する必要があるため。				
	率似	.—	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	4	長寿命化計画に従い、適切な維持管理を図ること 出来ている。				
有	効	性	事業の目的に対して成果が得 られているか	4	長寿命化計画に従い、適切な維持管理を図ること 出来ている。				
公	平	性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	4	各学校に修繕等の必要箇所が多くあるので、計画 的に改修する必要がある。				

令和4年度までの 育和4年度も 自己評価または いました。 改

令和4年度については、体育館屋上の防水工事及び揚水ポンプの更新工事を行

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)							
評価 4区分とその理	<u> 理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み</u>						
委託・指定管理 導入の可能性	3 学校施設の維持管理は教育委員会並びに学校長であるため。						
•		-					
令和5年度の見直し 及び改善予定	学校が希望する修繕必要箇所を精査し、計画的に改修をしていく。また、改修を要する箇所や適正な時期を見直すなど、学校と連携を図りながら実施していく必要がある。						
令和6年度以降の 方向性	今後も継続して、児童・生徒の安全・安心の向上を図るため、計画的な改修等 います。						

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

計画的に施設改修を行います。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

・次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	11905	担当課等 東台福浦小学校				
事務事業名	事務事業名 新型コロナウイルス感染症対策事業(東台福浦小学校)					
予算科目コード	会計 1	款 9 項	4 目 1 事業開始年度 令和2年度			

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施 策	細が	拖 策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じ かな心を育 り	- て学び豊	I 生涯にわた びの推進	る学学	3 校教育	小·中 [:] 充実	(1) 学校教育の	⑩教育施記 備の推進	役∙設備∙整
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育 〇	5ジェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGSZの角建	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的		学校における新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全・安心な学校生活を 惟進します。							
対 象	東台福浦小学校の児童及び教職員								
内容	新型コロ	新型コロナウイルス感染症対策として保健衛生用品等を整備します。							

	区 分		区 分 令和3年度(決算)		度(決算)	令和5年	度(見込)
	事業費		964,183	900,000			124,000
コス	人	常勤職員					
 -	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	964,183		900,000		124,000
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内							
訳		一般財源	964,183	900,000			124,000
		財源合計	964,183	900,000		124,0	
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

評 価 5	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)							
必要性	町が実施する必要があるのか	5	児童及び教職員等の安全・安心の確保や支援で あるため、行政が行います。					
効 率 性類 似 性	が得られているか	5	新型コロナウイルス感染症対策を充実することがで きた。					
有効性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	新型コロナウイルス感染症対策を充実し、児童が 感染症対策等を習慣化することができた。					
公平性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	5	消耗品が大多数を占めるので、定期的な整備が必 要となります。					

令和4年度までの 自己評価または 改善点

国庫補助制度を活用し、迅速に消毒液、パーテーション等の保健衛生用品や、備品を整備し、感染症対策を講じた学校運営を行うことができた。

4 見直し及び改善

・ 九にしなりの日							
評価 4区分とその 委託・指定管理 導入の可能性	<u>里由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)</u> 3 性質上、行政が必要である。						
令和5年度の見直し 及び改善予定	令和5年	F度においても、保 健衛 生用品や備品の整備をし活用していく。					
令和6年度以降の 方向性	今後も継続して、感染症対策を講じ安全・安心な学校生活を推進します。						

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したが、 他の感染症も含め引き続き対策を講じる必要が ある。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

一次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	12466	担当課等	東台福浦小学校			
事務事業名	事務事業名 図書等整備事業(東台福浦小学校)					
予算科目コード	会計 1	款 9 項	4 目 2	事業開始年度	令和3年度	

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基;	本 目	標	政	策	分	野	主要	更施 策	細	施策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯をi かな心を り	4 通じて学 を育むさ	学び豊 まちづく	I 生涯にわた びの推進	たる学	学校教育			(1) 学校教育の	②小学校	教育の充実
関連する個別計画											
	1貧团	2	飢餓	3保健	4教育	5ジェン	ンダー 6	水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	りインフラ等
SDGsとの関連					0						
SDUSCU房建	10不平	等 1	1都市	12生産と消費	13気候変	動 14海洋	資源 1	5陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的		学校図書の充実や、多様化する学習内容へ対応していくための、教師の資質向 上図るもの。									
対 象	東台	東台福浦小学校児童及び教職員									
内容		学校図書館における児童用図書、教師用指導書、教育振興教材備品を購入・整 備するもの。									

	区分		令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
	事業費		630,773		666,977	670,00	
コス	人	常勤職員					
 -	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	630,773		666,977		670,000
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内							
訳		一般財源	630,773	666,977			670,000
		財源合計	630,773	666,977		670,0	
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

評 価 5段	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)							
必要性	町が実施する必要があるのか		文部科学省の学校図書館整備計画に基づき学校 図書館の蔵書等の充実を図るもの。					
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促 進できる。					
有効性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促 進できる。					
公平性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促 進できる。					

改

令和4年度までの ○ 令和2年度までの「図書整備事業」、「指導用図書等整備事業」及び「教育振興教 自己評価または 材備品事業」を統合したもので、事務のスリム化を図った。 また、学校において児童用図書等の整備を行った。

4 見直1.及び改善

元世に次が収合							
評価 4区分とその3	里由を記え	人(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)					
委託・指定管理 導入の可能性	3 学校図書館の蔵書整備等のため、行政として行う必要があると考える						
令和5年度の見直し 及び改善予定	学校の	要望を的確に把握し、過不足なく整備していく。					
令和6年度以降の 方向性	整備すべき備品等については、今後とも継続して行う必要がある。						

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

定期的な整備を要します。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

・次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	12467	担当課等		東台福浦小学校	
事務事業名	総合的学習等	推進事業(東	台福浦小学校)		
予算科目コード	会計 1	款 9 項	4 目 2	事業開始年度	令和3年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施 策	細が	拖 策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通じ	4 て学び豊 むまちづく	I 生涯にわた びの推進	る学 学	3 校教育	小•中 ⁴ 充実	(1) 学校教育の	②小学校都	教育の充実
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育 〇	5シェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGSCの関連	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変重	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	な課題な		て学習を		調べ学習。また、全				
対 象	東台福浦小学校児童及び教職員								
内容			上を図るる		り」に連動し	 _、情操参	対育の推進	きを図る。	

		区 分	令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
		事業費	115,652		297,000		116,000
コス	人	常勤職員					
<u>`</u>	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	115,652		297,000		116,000
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	115,652		297,000		116,000
		財源合計	115,652		297,000		116,000
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

評価	5段階	まとその理由を記入(5:高い 4:	やや	高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)
必要	性	町が実施する必要があるのか	5	総合的な学習内容の充実を図るため、学校において事業を実施する必要がある。
効 率 類 似		投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	総合的な学習内容をより充実したものにできてい る。
有 効	性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	総合的な学習内容をより充実したものにできてい る。
公 平	性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	5	全児童を対象としているため公平性を保っている。

令和4年度までの 改

令和2年度までの「教育研究発表事業」、「花いっぱい教育推進事業」及び「総合 自己評価または的学習推進事業」を統合したもので、事務のスリム化を図った。 また、各学校において総合的な学習の推進を図ることができた。

4 見直し及び改善

評価 4区分とその	理由を記え	l(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)
委託・指定管理 導入の可能性	3	児童及び教職員が総合的な学習を推進するため。
令和5年度の見直し 及び改善予定	今後も約	継続実施する。
令和6年度以降の 方向性	引き続き	き、各学年の発達段階に応じた学習内容を検討する。

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

継続して事業を実施することにより、児童の学習 意欲の向上及び教職員の資質の向上を図る必 要がある。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

	 	 	· · · · — II···	 ,

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

·次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	12468	担当課等		東台福浦小学校	
事務事業名	外部教育力活	用事業(東台	福浦小学校)		
予算科目コード	会計 1	款 9 項	4 目 2	事業開始年度	令和3年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施 策	細力	施 策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じ かな心を育 り	- て学び豊	I 生涯にわた びの推進	こる学 学	3 校教育	小·中: 充実	(1) 学校教育の	②小学校	教育の充実
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育 〇	5シェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGSCV房庄	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的			きし講演会 交教育活!		することで を図る。	、国際文	化学習や	心身の発	達と個性
対 象	東台福浦小学校児童及び教職員								
内容	国際理	解教育や	卒業記念	に係る講	演会等を	実施する	もの。		

		区 分	令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
		事業費	53,284		100,572		101,000
コス	人	常勤職員					
 -	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	53,284		100,572		101,000
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	53,284		100,572		101,000
		財源合計	53,284		100,572		101,000
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)								
必要	性	町が実施する必要があるのか	5	国際文化学習等の内容で、児童を対象に講演会 を実施しているため。				
効 率 類 似		投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	講演会の開催により、児童の学習面において、より 充実したものにできている。				
有効	性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	講演会の開催により、児童の学習面において、より 充実したものにできている。				
公 平	性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	4	毎年、特定の学年を対象としているため公平性を 保っている。				

令和4年度までの 改

令和2年度までの「国際理解教育推進事業」、「地域教育力活用事業」及び「卒業 自己評価または記念講演会開催事業」を統合したもので、事務のスリム化を図った。 また、外部講師をお招きし講演会を開催し、学校教育活動の充実を図った。

4 見直し及び改善

_	元匠の人の以口	m	
Li	評価 4区分とその5	里田を記り	人(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)
	委託・指定管理 導入の可能性	3	講演会を開催することで、児童及び教職員の教育活動の充実を図るため。
_	-		
	令和5年度の見直し 及び改善予定	今後も	継続実施する。
	令和6年度以降の 方向性	引き続き	き、学校教育活動の充実を図る一助となるよう取り組む。

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

継続して事業を実施することにより、児童及び 教職員の教育活動の充実を図る必要がある。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

·次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	5610	担当課等	東台福浦小学校
事務事業名	給食施設整備	事業(明繰)(東台福浦小学校)
予算科目コード	会計 1	款 9 項	4 目 3 事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目 標	政	策	分 野	主	要施 策	細力	施 策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通じ	4 て学び豊 でむまちづく	I 生涯にわた びの推進	∸る学 学	3 华校教育	小·中 ² 充実	(1) 学校教育の	⑩教育施記 備の推進	设・設備・整
関連する個別計画									
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsとの関連				0					
SDUSCU房建	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変	加 14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	安全•9	安心な給食	食の提供						
対 象	東台福浦小学校児童								
内容	ガス回	転窯の購	λ						

		区 分	令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
	事業費		83,820	549,450			0
コス	人	常勤職員					
	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	83,820		549,450		0
		国庫支出金					
財		県支出金					
源							
内							
訳	一般財源		83,820		549,450		0
		財源合計	83,820		549,450		0
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

1441-1-125 CO 7 X 7 11 X 0 CC 1 M										
評価	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)									
必	要性	町が実施する必要があるのか	5	老朽化した給食機器につては、計画的に更新する 必要がある。						
		投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	安全・安心な給食の提供に資する。						
有3	効 性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	安全・安心な給食の提供に資する。						
公	平 性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	5	在校生及び教職員に安全な給食を提供できる。						

己言	评価ā	または
以	普	只
	己言	和 4 年 度 己 評 価 ā 改 善

令和4年度は、ガス回転窯を整備した。

4 見直し及び改善

アルロングの 場合									
<u>評価 4区分とその</u> 3	<u>埋田を記ん</u>	<u> </u>							
委託・指定管理 導入の可能性	3	給食設備整備のため、行政が行う必要があると考える。							
令和5年度の見直し 及び改善予定	安心面	・衛生面の向上となるよう適正に点検しながら改修を図る。							
令和6年度以降の 方向性	更新や	修繕が必要な給食室設備については、計画的な整備をする必要がある。							

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

児童への安全な給食の提供のため、定期的な 更新が必要である。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

・次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号		担当課等		湯河原中学校
事務事業名	生徒派遣事業			
予算科目コード	会計 1	款 9 項	5 🗐 1	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施策	細力	施 策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じ かな心を育 り	て学び豊	I 生涯にわた びの推進	こる学 学	3 校教育	小·中 充実	(1) '学校教育の	③中学校認	教育の充実
関連する個別計画									
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育 〇	5ジェンダー	6水•衛生	E 7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsとの関連	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変重	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	部活動	派遣事業							
対 象	中学校	中学校の部活動で活動する生徒							
内容	部活動	において	大会等に	参加する	生徒の交	通費の一	一部(派遣星	*)	

		区 分	令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年月	度(見込)
	事業費		53,284		100,572		0
コス	人	常勤職員					
\hat{\chi}	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	53,284		100,572		0
		国庫支出金					
財		県支出金					
源							
内	その他特定財源						
訳	一般財源		53,284		100,572		0
		財源合計	53,284	100,572			0
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

	12 H - 1 KO CO T AND IN CO NO.									
評估	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)									
必	要	性	町が実施する必要があるのか	4	部活動において大会等に参加する生徒の活動を 応援する。					
効類	率似		投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	4	部活動において大会等に参加する生徒の活動を 応援する。					
有	効	性	事業の目的に対して成果が得 られているか	4	部活動を通して成長する一助となる。					
公	平	性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	4	部活動で活動する生徒を対象としている。					

令和4年度までの 自己評価または 改善点

部活動において大会等に参加する生徒の活動を応援する。

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理	理由を記え	l(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)
委託・指定管理 導入の可能性	3	行政が実施する必要がある。
	1	
令和5年度の見直し 及び改善予定	部活動	の活動に資する事業である。
令和6年度以降の 方向性	令和5年	F度以降は、「部活動運営経費」に統合する。

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(見直し)	፲: ያራ
------	---------	----------

「部活動運営経費」に統合することで、事業のス リム化を図る。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

_	邓山以	日日正定りルボル	うのかんではいい	一女です。土限のより近山に	7 (1200%)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総	合	評	価
---	---	---	---

継続(見直し)

令和6年3月22日

事業番号	5711	担当課等	湯河原中学校					
事務事業名	事務事業名 学校支援ボランティア活用事業(湯河原中学校)							
予算科目コード	会計 1	款 9 項	5 目 1 事業開始年度					

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基々	本 目	標	政	策	分	野	主	要 施	策	細	施	策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生 涯 を通 かな心を り	4 通じて学 ☆育むま	び豊 ちづく	I 生涯にわた びの推進	≿る学	学校教育		小•中 [:] 充実	(1) 学校教	育の	③中学村	交教 育	で充実
関連する個別計画													
SDGsとの関連	1貧困		飢餓	3保健	4教育 〇			水•衛生			8経済成長と原		シンフラ等
33 33 2 37 17 17 17	10不平	等 11	<u>都市</u>	12生産と消費	13気候変	图 14海洋	羊資源 15	陸上資源	16平	<u>- 和</u>	17実行手	段 該	当なし
目的		地域の方々にかかわっていただき、地域との連携を図り、生徒を育てる教育環境を 進する。											
対 象	地域	地域のボランティア											
内容	授業 アに携			師のサポ [、] だく。	ートや、	学校図	書館の	蔵書整	建理な	どに	地域の	ボラン	 /ティ

	区分		令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
	事業費		59,491	4,545			104,000
コス	コ 大 常勤職員						
	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	59,491		4,545		104,000
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	59,491	4,545			104,000
		財源合計	59,491		4,545		104,000
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
	成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)									
必要	性	町が実施する必要があるのか	5	学校の様々な場面において地域ボランティアにか かわってもらうことで、学校環境の維持向上を図るこ とができる。					
効 率 ′ 類 似 ′		投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	学校の様々な場面において地域ボランティアにか かわってもらうことで、学校環境の維持向上を図るこ とができる。					
有効	性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	地域の方が多く学校現場に接してもらうことで、地域と学習の連携が図られるとともに、教育現場の透明性を図ることができる。					
公平	性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	3	学校環境の維持向上及び透明性が確保されることで で児童・生徒の学校生活の向上につながる。					

令和4年度までの ^{♥和4+及6} 自己評価または た。 改

新型コロナウイルス感染症の影響により縮小していた活動を再開することができ

4 見直し及び改善

	田士士=1:							
評価 4区分とその理	<u>埋田を記ん</u>	<u>人(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)</u>						
委託・指定管理 導入の可能性	3	3 事業の性格上、学校として行う必要があると考える。						
令和5年度の見直し 及び改善予定	感染対	策に留意しながら、地域と連携を図っていく。						
令和6年度以降の 方向性	今後も、	学校運営の向上を図るよう取り組む。						

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

学校環境の維持向上をボランティアの協力をい ただき継続的に図る必要がある。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

·次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	5723	担当課等	湯河原中学校						
事務事業名	普通救命講習	会開催事業							
予算科目コード	会計 1	款 9 項	5 🗐 1	事業開始年度	平成25年度				

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目 標	政	策	分 野	主要	更施 策	細力	施 策		
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通じ	1 て学び豊 むまちづく	I 生涯にわた びの推進	る学 学	3 校教育	小•中 * 充実	(1) 学校教育の	③中学校都	散育の充実		
関連する個別計画											
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等		
SDGsとの関連				0							
SDUSCU用建	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし		
目的	総合学	総合学習の時間で普通救急救命講習会を開催し命の大切さを学ぶ。									
対 象	湯河原	湯河原中学校2年生									
内容		急救命講 ようにする		 □呼吸、 <i>I</i>	AEDの取り	₋ 0扱い等)	 を開催し、	、不測の腎	事態に備		

区分		区 分	令和3年度(決算)	4	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
	事業費		0			0		84,000
コス	人	常勤職員						
<u>`</u>	件	会計年度任用職員等						
	費	人件費合計	0			0		0
		総事業費	0			0		84,000
		国庫支出金						
財		県支出金						
源								
内		その他特定財源						
訳		一般財源	0			0		84,000
		財源合計	0			0		84,000
		活動指標	指標設定の理由・考えた	5	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考えた	ל	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0

		•							
評価	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)								
必要	性	町が実施する必要があるのか	5	総合学習の時間を使い実施している。					
効 率 類 似		投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	消防本部の協力を得て実施している。					
有効	性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	人工呼吸やAEDの使い方を学ぶことによって、不 測の事態に備えるとともに命の大切さを学ぶことがで きる。					
公 平	性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	5	受講は2年生全員を対象としている。					

令和4年度までの 自己評価または 改

令和4年度は、コロナウイルス感染症の影響により中止した。

4 見直し及び改善

+ 元直し次し、以口		
評価 4区分とその理	里由を記え	N(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)
委託・指定管理 導入の可能性	3	事業の性格上、学校として行う必要があると考える。
令和5年度の見直し 及び改善予定		からは新型コロナウイルス感染症対策による学校臨時休業や拡大防止対 中止したが、今後は安全に実施できるよう検討する。
令和6年度以降の 方向性	コロナネ	B前と同様に実施できるよう検討していく。

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

人工呼吸やAEDの使い方を学ぶことによって、 不測の事態に備えるとともに命の大切さを学ぶこ とができる。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各謀寺は記入へ要です。空禰のよま提出してくたさ)	را ر
---	------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

・次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	番 号 5728 担当課等 湯河原中学校				
事務事業名	生徒用机•椅子	• 教卓等整備事	業(湯河原中学校)		
予算科目コード	会計 1	款 9 項 5	目 1 事業開始年度		

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施策	細	施策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通じ	4 て学び豊 むまちづく	I 生涯にわた びの推進	こる学学	3 校教育	小•中 充実	(1) 学校教育の	③中学校	教育の充実
関連する個別計画									
500-4の間油	1貧困	2飢餓	3保健	4教育 〇	5ジェンダー	6水•衛生	フェネルキー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsとの関連 	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	生徒用 境を整備		教卓等の	学校用品	品を更新し	、生徒が	安全•安心	ルして学習	できる環
対 象	湯河原	中学校							
内容		品は、机の	、教卓等 <i>0</i> の天板を引		び更新。 3等修繕し	て使用し	ており、修	繕不能と	なるもの

	区 分		令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
	事業費		593,230	586,905			594,000
コス	常勤職員						
 -	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	593,230		586,905		594,000
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	593,230		586,905		594,000
		財源合計	593,230		586,905		594,000
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

In the color of the state of th										
評価 5段階	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4: <u>やや高い</u> 3:普通 2:やや低い 1:低い)									
必要性	町が実施する必要があるのか	5	生徒が使用する机等の更新を図るため必要。							
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	長年の使用により破損する机等があるため、定期 的に更新している。							
有 効 性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	長年の使用により破損する机等があるため、定期 的に更新している。							
公 平 性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	4	長年の使用により破損する机等があるため、定期 的に更新している。							

令和4年度までの 自己評価または 改善点

適宜更新することができている。

4 見直し及び改善

	田山大司	N(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)						
	<u>単田で記え</u>	【(1:可能 2:2562もいえない 3:不可能 9:成に美胞済み)						
委託・指定管理 導入の可能性	3	備品等の修繕及び更新事業のため、行政として行う必要があると考え						
令和5年度の見直し 及び改善予定	学校の	要望を的確に把握し、更新していく。						
令和6年度以降の 方向性	現状維	持。生徒数の推移を注視していく。						

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

破損したり古くなった机・椅子を定期的に更新し ていく。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

一次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	5735	担当課等	湯河原中学校				
事務事業名	防災備蓄用品	購入事業					
予算科目コード	会計 1	款 9 項	5 目 1	事業開始年度			

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要 施 策	細が	拖 策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通じ	1 て学び豊 むまちづく	I 生涯にわた びの推進	こる学 学	3 校教育	小·中 充実	(1) 学校教育の	③中学校制	教育の充実
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育 〇	5シェンダー	6水•衛生	フェネルキー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGSCV发達	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変重	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	緊急時 る。	における	生徒の安全	全確保を	図るため、	毎年防災	災備蓄品を	:順次整備	してい
対 象	湯河原	湯河原中学校							
内容	備蓄用	食料、飲	料水、防災	泛用備品	を整備する	ó.			

	区 分		令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
	事業費		199,560	181,374			0
コス	7 人 常勤職員						
 	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	199,560		181,374		0
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	199,560		181,374		0
		財源合計	199,560		181,374		0
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

評 価	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)									
必	要性	町が実施する必要があるのか	5	緊急時における生徒の安全確保を図るため実施 する。						
	率 性似 性	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	毎年、防災備蓄品を順次整備している。						
有	効 性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	屋上避難や、教室に待機する際に生徒の安全確 保が図られる。						
公	平 性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	4	湯河原中学校生徒全員に対して防災備品を整備 している。						

令和4年度までの 自己評価または 改善点

継続的に防災備品を整備している。

4 見直し及び改善

評価 4区分とその3	理由を記え	(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)
委託・指定管理 導入の可能性	3	防災備蓄用品購入事業のため、行政として行う必要があると考える。
	1	
令和5年度の見直し 及び改善予定	学校と通	重携を図り、要望に沿った備品等を整備します。
令和6年度以降の 方向性		F度より、小学校購入分と統合するため事務局費に移すが、引続き、学校とり、児童・生徒数の推移を注視し、整備を行う。

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

防災備蓄用品は、継続的に整備していく必要が ある。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

一次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	7794	担当課等	湯河原中学校				
事務事業名	業 名 校舎等整備事業(湯河原中学校)						
予算科目コード	会計 1	款 9 項	5 目 1 事業開始年度				

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	更施 策	細が	拖 策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通じ かな心を育 り	て学び豊	I 生涯にわた びの推進	-3学 学	3 校教育	小·中 ⁴ 充実	(1) 学校教育の	⑩教育施記 備の推進	괓∙設備∙整
関連する個別計画									
000 Lの明洁	1貧困	2飢餓	3保健	4教育 〇	5ジェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsとの関連	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	学校の	修繕必要	箇所やエ	事必要簡	節所を計画	的に改修	し、維持な	管理を図る	3 もの。
対 象	湯河原	湯河原中学校							
内容	令和4年	F度は、空	ዸ調設備⊄)整備を3	尾施 しました	£.,			

		区 分	令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
		事業費	3,828,000		4,290,000	(
コス	一儿 吊制脚具						
	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	3,828,000		4,290,000		0
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	3,828,000		4,290,000		0
		財源合計	3,828,000		4,290,000		0
		活動指標	指標設定の理由・考えた	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考えた	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

	- 14世十一及のこの手术が初次の収目派						
評 価	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4: <u>やや高</u> い 3:普通 2:やや低い 1:低い)						
必	要 性	町が実施する必要があるのか	4	維持管理や改修については、学校と連携し実施する必要があるため。			
効類	率性似性	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	4	長寿命化計画に従い、適切な維持管理を図ること 出来ている。			
有	効 性	事業の目的に対して成果が得 られているか	4	長寿命化計画に従い、適切な維持管理を図ること 出来ている。			
公	平 性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	4	各学校に修繕等の必要箇所が多くあるので、計画 的に改修する必要がある。			

令和4年度までの 自己評価または 改善点

令和4年度は、国庫補助制度を活用し、空調設備の整備工事を行いました。

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み						
委託・指定管理 導入の可能性	3 学校施設の維持管理は教育委員会並びに学校長であるため。					
	1					
令和5年度の見直し 及び改善予定		希望する修繕必要箇所を精査し、計画的に改修をしていく。また、改修を要 や適正な時期を見直すなど、学校と連携を図りながら実施していく必要が				
令和6年度以降の 方向性	今後も います。	継続して、児童・生徒の安全・安心の向上を図るため、計画的な改修等を行				

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

計画的に施設改修等を行います。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

0 対政・計画推進の抗点が500分元(次音誌寺は記入17安とす。主側のよる徒山していたです。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

一次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	11910	担当課等	湯河原中学校
事務事業名	新型コロナウイ	ルス感染症対	 策事業(湯河原中学校)
予算科目コード	会計 1	款 9 項	5 目 1 事業開始年度 令和2年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施 策	細が	拖 策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通じ	1 て学び豊 むまちづく	I 生涯にわた びの推進	-3学 学	3 校教育	小·中: 充実	(1) 学校教育の	⑩教育施記 備の推進	役∙設備∙整
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育 〇	5ジェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGSCV发達	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	学校に 推進しま		型コロナウ	'イルス感	染症対策	を徹底し	、安全•安	心な学校	生活を
対 象	湯河原	中学校の	生徒及び	教職員					
内容	新型コ۱	コナウイル	⁄ス感染症	対策とし	て保健衛生	生用品や	備品を整備	備します。	

区分		区 分	令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年度(見込)	
	事業費		1,310,000		1,350,000	1,020,000	
コス	人	常勤職員					
 	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	1,310,000		1,350,000		1,020,000
		国庫支出金	1,310,000		1,350,000		510,000
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	0		0		510,000
		財源合計	1,310,000		1,350,000		1,020,000
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
<u> </u>					0	0	0
					0	0	0

評 価 5	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4 <u>:やや高</u> い 3:普通 2:やや低い 1:低い)							
必要性	町が実施する必要があるのか	5	生徒及び教職員等の安全・安心の確保や支援で あるため、行政が行います。					
効 率 性類 似 性	が得られているか	5	新型コロナウイルス感染症対策を充実することがで きた。					
有効性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	新型コロナウイルス感染症対策を充実し、生徒が 感染症対策等を習慣化することができた。					
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	消耗品が大多数を占めるので、定期的な整備が必 要となります。					

令和4年度までの

国庫補助制度を活用し、迅速に消毒液、空気清浄機等の保健衛生用品や、備 自己評価または品を整備し、感染症対策を講じた学校運営を行うことができた。

4 見直し及び改善

元直し及び収占						
評価 4区分とその理	里由を記え	人(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)				
委託・指定管理 導入の可能性	3 性質上、行政が実施する必要がある。					
令和5年度の見直し 及び改善予定	令和5年	F度においても、保 健 衛生用品や備品の整備をし活用していく。				
令和6年度以降の 方向性	今後も紀	継続して、感染症対策を講じ安全・安心な学校生活を推進します。				

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(見直し)

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したが、 他の感染症も含め引き続き対策を講じる必要が ある。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(見直し)

·次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	5782	担当課等			湯河原中学校	
事務事業名	外部教育力活	用事業(湯河	原中学校)			
予算科目コード	会計 1	款 9 項	5 目	2	事業開始年度	令和3年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主要	更施 策	細が	拖 策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じ かな心を育 り	- て学び豊	I 生涯にわた びの推進	:る学 学	3 校教育	小•中 ⁴ 充実	(1) 学校教育の	③中学校都	教育の充実
関連する個別計画									
CDC- Lの間油	1貧困	2飢餓	3保健	4教育 〇	5シェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsとの関連	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変重	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的					別和ある心。 後の充実し				
対 象	湯河原中学校生徒								
内容	卒業予	定の中学	3年生に対	対して、請	構演会を行	うもの。			

		区 分	令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
	事業費		30,000	30,000			100,000
コス	人	常勤職員					
<u>`</u>	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	30,000		30,000		100,000
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	30,000	30,000			100,000
		財源合計	30,000		30,000		100,000
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

評 価 5段	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)						
必要性	町が実施する必要があるのか	5	自己の向上として、卒業生を対象に講演会を実施 しているため。				
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	講演会の開催により、教育活動をより充実したもの にできている。				
有 効 性	事業の目的に対して成果が得 られているか		講演会の開催により、教育活動をより充実したもの にできている。				
公平性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	4	毎年、卒業生を対象としているため公平性を保っ ている。				

令和4年度までの 自己評価または 改

外部講師をお招きし講演会を開催し、学校教育活動の充実を図った。

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理	里由を記え	N(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)							
委託・指定管理 導入の可能性	3 講演会を開催することで、生徒の教育活動の充実を図るため。								
令和5年度の見直し 及び改善予定	今後も終	継続実施する。							
令和6年度以降の 方向性	引き続き	き、学校教育活動の充実を図る一助となるよう取り組む。							

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

継続して事業を実施することにより、生徒の教育 活動の充実を図る必要がある。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

・次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	12469	担当課等	湯河原中学校				
事務事業名	図書等整備事	業(湯河原小	学校)				
予算科目コード	会計 1	款 9 項	5 目 2 事業開始年度 令和3年度				

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施 策	細力	施 策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通じ	4 に学び豊 がむまちづく	I 生涯にわた びの推進	こる学 学	3 校教育	小•中 ⁴ 充実	(1) 学校教育の	③中学校都	教育の充実
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育 〇	5シェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGSCの財産	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	学校図 上図るも		や、多様	化する学	習内容へ	対応してい	へくための	、教師の	資質向
対 象	湯河原中学校生徒及び教職員								
内容		書館にお			教師用指導	尊書、教 育	育振興教材	才備品、特	

-		区 分	令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
	事業費		4,603,435	1,513,003			1,649,000
コス	人	常勤職員					
<u>`</u>	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	4,603,435		1,513,003		1,649,000
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	4,603,435	1,513,003			1,649,000
		財源合計	4,603,435		1,513,003		1,649,000
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

評値	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)									
必	要	性	町が実施する必要があるのか	5	文部科学省の学校図書館整備計画に基づき学校 図書館の蔵書等の充実を図るもの。					
効類	·		投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促 進できる。					
有	効	性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促 進できる。					
公	平	性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促 進できる。					

令和4年度までの

令和2年度までの「図書整備事業」、「指導用図書等整備事業」及び「教育振興教 自己評価または 材備品事業」を統合したもので、事務のスリム化を図った。 改善点 また、学校において児童用図書等の整備を行った。

4 見直し及び改善

評価 4区分とその3	里由を記力	N(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)							
委託・指定管理 導入の可能性	3	学校図書館の蔵書整備等のため、行政として行う必要があると考える。							
令和5年度の見直し 及び改善予定	学校の	要望を的確に把握し、過不足なく整備していく。							
令和6年度以降の 方向性	整備す	べき備品等については、今後とも継続して行う必要がある。							

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

定期的な整備を要します。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

・次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	12470	担当課等	湯河原中学校			
事務事業名	総合的学習等	推進事業(湯	河原中学校)			
予算科目コード	会計 1	款 9 項	5 🗏 2	事業開始年度	令和3年度	

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	要施 策	細が	拖 策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通じ	4 て学び豊 「むまちづく	I 生涯にわた びの推進	る学 学	3 校教育	小•中 ⁴ 充実	(1) 学校教育の	③中学校都	教育の充実
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育 〇	5シェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGSCの角建	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	な課題な		て学習を		調べ学習。また、全				
対象湯河原中学校生徒及び教職員									
内 容 教職員の資質向上を図るもの。 町が推進する「緑と花のある町づくり」に連動し、情操教育の推進を図る。									

		区 分	令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
	事業費		324,623	209,251			419,000
コス	人	常勤職員					
<u>`</u>	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	324,623		209,251		419,000
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	324,623	209,251		209,251	
		財源合計	324,623		209,251		419,000
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

評価	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)									
必	要性	町が実施する必要があるのか	5	総合的な学習内容の充実を図るため、学校におい て事業を実施する必要がある。						
効 類 化		投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	総合的な学習内容をより充実したものにできてい る。						
有3	効 性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	総合的な学習内容をより充実したものにできてい る。						
公	平 性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	5	全生徒を対象としているため公平性を保っている。						

令和4年度までの 改

令和2年度までの「教育研究発表事業」、「花いっぱい教育推進事業」及び「総合 自己評価または的学習推進事業」を統合したもので、事務のスリム化を図った。 また、学校において総合的な学習の推進を図ることができた。

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)									
委託・指定管理 導入の可能性 3 生徒及び教職員が総合的な学習を推進するため。									
	1								
令和5年度の見直し 及び改善予定	今後も約	継続実施する。							
令和6年度以降の 方向性	引き続き	き、各学年の発達段階に応じた学習内容を検討する。							

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

継続して事業を実施することにより、児童の学習 意欲の向上及び教職員の資質の向上を図る必 要がある。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

·次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	12471	担当課等	湯河原中学校			
事務事業名	部活動推進事業					
予算科目コード	会計 1	款 9 項	5 🗏 2	事業開始年度	令和3年度	

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主	更施 策	細が	拖 策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通じ	4 て学び豊 むまちづく	I 生涯にわた びの推進	-3学 学	3 校教育	小•中 ⁴ 充実	(1) 学校教育の	③中学校都	教育の充実
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育 〇	5ジェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGSCの財産	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	部活動の。	の充実を	図るため、	部活動戶	用品の整備	前や専門的	的な指導力	力の強化を	をするも
対 象	湯河原	湯河原中学校生徒、地域の方							
内容	部活動	部活動用品の更新や修繕、外部指導者の充実等							

	区 分		令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
		事業費	864,566	1,406,966		3,360,000	
コス	人	常勤職員					
 -	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	864,566		1,406,966		3,360,000
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	864,566		1,406,966		3,360,000
		財源合計	864,566		1,406,966		3,360,000
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

評 価 5段	皆とその理由を記入(5:高い 4:	やや高	らい 3:普通 2:やや低い 1:低い)
必要性	町が実施する必要があるのか	5	部活動の充実を図るため、学校において事業を実 施する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	部活動の推進について、より充実したものにできて いる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	部活動の推進について、より充実したものにできて いる。
公平性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	5	全部活を対象としているため公平性を保っている。

令和4年度までの

令和2年度までの「部活動用品整備事業」、「吹奏楽部楽器整備事業」及び「部活 自己評価または 動外部補助指導事業」を統合したもので、事務のスリム化を図った。 改善点 また、学校において総合的な学習の推進を図ることができた。

4 見直し及び改善

評価 4区分とその3	理由を記え	【(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)						
委託・指定管理 導入の可能性	3	性質上、行政及び学校において事業を実施するため。						
令和5年度の見直し 及び改善予定	継続して	て、計画的に部活動用品の整備を行う。						
令和6年度以降の 方向性	を行いま また、外	用品については、経年劣化等により損傷がみられますので、計画的な整備す。 ・部指導者の充実により、超過する教職員の働き方改革にも繋がりますの への支援を更に図ります。						

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(拡大)	継続的に部活動の振興を図り、地域指導者へ の適切な支援など検討していく。
		の適別は又後など便削してい。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価 継続(拡大) ・次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号		担当課等場河原中学校							
事務事業名	事務事業名「いのち」を大切にする心をはぐくむ教育推進研究受託事業								
予算科目コード	会計	L 款	9	項	5	目	2	事業開始年度 令和4年度	

1 事業概要(令和4年度)

サス帆叉(17日1年/ 		_ 	πh	h -	/\	→ ਜ	5 +/- //-	ém +	
総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	土多	更施 策	細力	拖 策
	生涯を通じ	4 て学び豊 むまちづく	I 生涯にわた びの推進	:る学 学	3 校教育	小•中 * 充実	(1) 学校教育の	③中学校都	数育の充実
関連する個別計画									
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	9インフラ等
SDGsとの関連				0					
SDGSCの例理	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	「いのち	っ」を大切し	こする心を	とはぐくむ					
対象	湯河原	湯河原中学校生徒及び教職員							
内容		アートコミュ なに広がれ			·ニング) の)作成	特別授業	ど校門前	 jに掲示す	る横断

		区 分	令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
		事業費	0		120,000		0
コス	人	常勤職員					
 -	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	0		120,000		0
		国庫支出金					
財		県支出金			120,000		
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	0		0		0
		財源合計	0		120,000		0
		活動指標	指標設定の理由・考えた	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

総合評価

3 令和4年度ま	での事業分	折及び改善点						
評価 5段階	当とその理由	を記入(5:高い 4	: やや	高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)				
必要性	町が実施す	る必要があるのか	4	「いのち」を大切にする心をはぐくむ教育を推進研 究できる。				
効 率 性 類 似 性	が得られて	用に見合った効果 いるか 類似はないか	4	これまで取り組んできた教育活動について、改めて その意義や目的を再確認できる。				
有 効 性	助性 事業の目的に対して成果が得られているか			「人と人とが関わりながら生きる」というねらいの実 現に向けた取り組みが実践できる。				
公平性	シ 平 性 事業の目的に対して受益の機 会が均等か			生徒主体で取り組んでいる。				
令和4年度までの 自己評価または 改善点 継続的に取り組んでいる「いのちの授業」につながる事業となった。								
4 見直し及び改善 「評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)								
委託•指定管	委託・指定管理 導入の可能性 3 事業の性質上、行政が実施する必要がある。							
令和5年度の 及び改善予	· I AH /-	別県に委託された	:単年)	度事業				
令和6年度以 方向性	降の神名	· ド川県に委託された	:単年月	度事業				
5 一次評価(令	和6年度以降	降の方向性に対する	評価)					
総合評	価	完了		県委託事業として1年で完了した。				
6 財政・計画推	6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)							
7 二次評価(※	7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)							
60 A								

完了

令和6年3月22日

事業番号	5896	担当課等	福浦幼稚園				
事務事業名 幼稚園子育で支援事業							
予算科目コード	会計 1	款 9 項 6	目 1 事業開始年度				

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目標	政	策	分 野	主要	更施 策	細	施策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通じ	4 て学び豊 むまちづく	I 生涯にわた びの推進	:る学 幼	2 児教育	幼児教	(1) (育の充実	①教育内	容の充実
関連する個別計画									
	1貧困	2飢餓	3保健	4教育 〇	5ジェンダー	6水•衛生	7エネルキ゛ー	8経済成長と雇用	りインフラ等
SDGsとの関連	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的		に保護者 支援を行		で保育で	きない園り	見に対し、	預かり保	' 育を実施	iすること
対 象	福浦幼	福浦幼稚園園児							
内容	子育で るもの。	支援の一	環として午	-後2時か	ら午後4時	持までの2	時間の預	かり保育	を実施す

		区 分	令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
		事業費	87,460		94,648		75,000
コス	人	常勤職員					
<u>`</u>	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	0		0		0
		総事業費	87,460		94,648		75,000
		国庫支出金					
財		県支出金					
源		地方債					
内		その他特定財源					
訳		一般財源	87,460		94,648		75,000
		財源合計	87,460		94,648		75,000
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
預	かり	保育実施日(週あたり)			5	5	0
保	育	近人数			294	312	0
	成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

	19 18 1 X 20 1 2 2 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							
評品	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)							
必	要	性	町が実施する必要があるのか	5	安心して預けられる保育を実施することができる。			
効類	率似	.—	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	月〜金 14時00分〜16時00分に開催、保護者負 担金1回450円、おやつ代を含む。			
有	効	性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	安心して預けられる保育を実施することができる。			
公	平	性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	_	園児保護者に受益者負担を負担してもらってい る。			

改

令和4年度までの 保護者負担額を1回500円から450円に下げた。また、令和元年度10月からの子ど 自己評価またはも子育て支援法の一部改正により、支給認定区分によって無償化される世帯がで き、ニーズが増えた。

4 見直し及び改善

元にしなり、日本の理由を記す(1・可能・0・じょうしょいった)、2・不可能・0・呼に実施され							
評価 4区分とその3 委託・指定管理 導入の可能性	室田を記り 3	、(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み) 事業の性格上、幼稚園として行う必要があると考える。					
	•						
令和5年度の見直し 及び改善予定		については、年々減少傾向にあるが、保護者負担額の減額や無償化の制 より、預かり保育の充実が図られ、利用者数については増加傾向にある。					
令和6年度以降の 方向性	保護者	ニーズを把握しながら継続実施する。					

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(現状維持)

保護者のニーズは高く、今後も継続実施してい

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(現状維持)

・次評価と同様

令和6年3月22日

事業番号	11465	担当課等		学校教育課	
事務事業名	新型コロナウイ	ルス感染症え	対策事業(福浦線	力稚園)	
予算科目コード	会計 1	款 9 項	6 目 1	事業開始年度	令和2年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本	目	標	政	策	分	野	主	要施策	細	施策
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	生涯を通 かな心を り	4 じて学 育むま	び豊 ちづく	I 生涯にわた びの推進	さる学	幼児教	2 育	幼児参	(1) 対育の充実	⑩教育施 備の推進	設∙設備∙整
関連する個別計画											
	1貧困	2負	讥餓	3保健	4教育	う 5ジ	ェンダー	6水•衛生	フェネルキー	8経済成長と雇用	҆
SDGsとの関連					0						
SDGSCの財産	10不平等	手 11:	都市	12生産と消費	13気候変	医動 14海	洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的				び幼稚園(舌を推進す			ュナウィ	イルス感ジ	杂症対策	を徹底し、	安全•安
対 象	町内名	予小中	学校	、幼稚園	の児童	•生徒	及び耄	対職員			
内容	新型=	ュロナ	ウイル	マス感染症	対策と	して保	健衛生	上用品等	を整備する	るもの。	

		区 分	令和3年度(決算)	令和4年	度(決算)	令和5年	度(見込)
	事業費		3,868,467		97,097		0
コス	人	常勤職員	2,805,200				
<u>`</u>	件	会計年度任用職員等					
	費	人件費合計	2,805,200	0		(
		総事業費	6,673,667		97,097	0	
		国庫支出金	3,868,467				
財		県支出金					
源							
内		その他特定財源					
訳		一般財源	2,805,200		97,097		0
		財源合計	6,673,667		97,097	0	
		活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
		成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

けれて十尺のこのすべりが次の収合派								
評価	評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)							
必要	性	町が実施する必要があるのか	5	生徒・児童及び教職員等の安全・安心の確保や支援であるため、行政が行います。				
効 率 類 似	.—	投入した費用に見合った効果 が得られているか 他事業との類似はないか	5	新型コロナウイルス感染症対策を充実することがで きた。				
有効	性	事業の目的に対して成果が得 られているか	5	新型コロナウイルス感染症対策を充実し、児童・生 徒が感染症対策等を習慣化することができた。				
公 平	性	事業の目的に対して受益の機 会が均等か	4	消耗品が大多数を占めるので、定期的な整備が必 要となります。				

令和4年度までの 自己評価または 改善点

国庫補助制度を活用し、迅速に消毒液、網戸等の保健衛生用品や、備品を整備し、感染症対策を講じた学校運営を行うことができた。

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)								
委託・指定管理 導入の可能性	3	性質上、行政が実施する必要がある。						
令和5年度の見直し 及び改善予定	令和5年度においても、保健衛生用品や備品の整備をし活用していく。							
令和6年度以降の 方向性	今後も	継続して、感染症対策を講じながら安全・安心な学校生活を推進する。						

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価

継続(見直し)

新型コロナウイルス感染症は5類へ移行したが、他の感染症も含め対策を講じていく。

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価

継続(見直し)

一次評価と同様